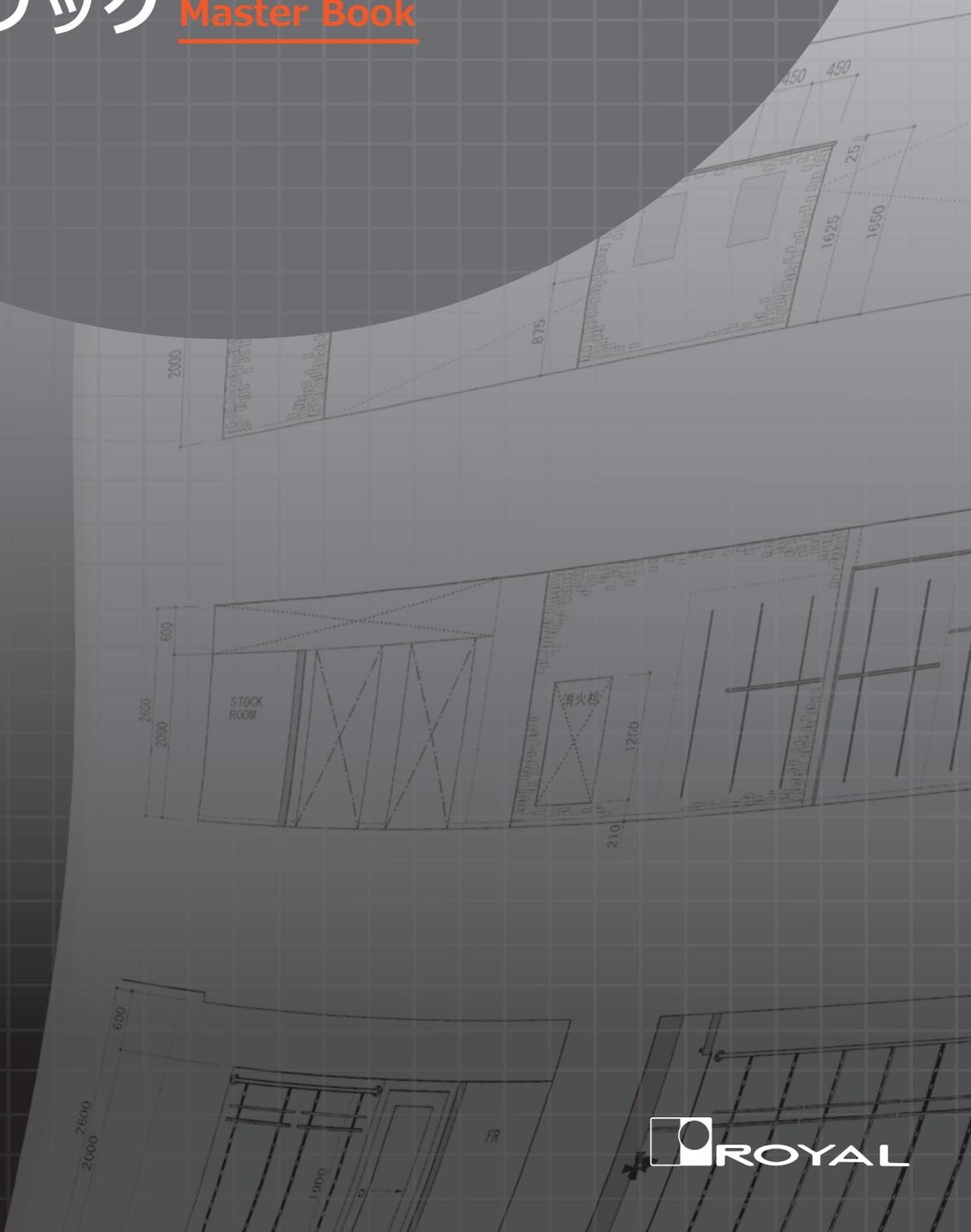




-royal virtual construct-  
**ROVIC**  
**4.0.0**

マスターブック Master Book

「描く」・「集計する」を簡単に



# Contents

はじめに.....	4
インストール .....	5
rovic 起動.....	7
用語説明.....	8
平面図 .....	8
展開図 .....	8
展開グループ .....	8
パーツパターン.....	9
展開詳細図.....	9
パーツリスト .....	9
コマンド.....	10
平面図から展開図を作成する.....	11
展開図 1 を作成 .....	12
レイヤ「展開図 1」を追加.....	13
展開グループ「レディース 1」を作成.....	14
外観を作成.....	16
サポート（シングルーシングル）を配置.....	17
パーツパターン「A」を作成.....	21
木棚（外々）を配置.....	23
パーツパターン「A」を確定.....	26
パーツパターン「B」を作成.....	27
パーツパターン「A」を適用.....	28
展開詳細図レイヤへ移動.....	30
平面図レイヤへ移動.....	31
展開グループ「レディース 2」を作成.....	32
展開グループを移動.....	34
外観を作成.....	35
サポート（シングルーシングル）を配置.....	36
パーツパターン「C」を作成.....	39
ハンガー（内々）を配置.....	41
パーツパターン「C」を確定.....	43
パーツパターン「C」を適用.....	44
展開図 2 を作成 .....	46
レイヤ「展開図 2」を追加.....	47
展開グループ「メンズ」を作成.....	48
外観を作成.....	50
サポート（シングルーダブル）を配置.....	51
パーツパターン「D」を作成.....	53
ハンガー（内々）を配置.....	55
棚（内々）を配置.....	56
パーツパターン「D」を確定.....	58

パーツパターン「E」を作成.....	59
パーツパターン「F」を作成.....	60
パーツパターン「D」「E」を適用.....	61
パーツパターン「D」を反転.....	63
<b>展開図3を作成.....</b>	<b>65</b>
レイヤ「展開図3」を追加.....	66
展開グループ「FR」を作成.....	67
外観を作成.....	69
ロコポイントを配置.....	70
展開詳細図レイヤへ移動.....	71
<b>平面図から部品を集計する.....</b>	<b>72</b>
部品表を作成.....	72
パーツリストを生成.....	74
<b>展開図のみ作成する.....</b>	<b>75</b>
レイヤ「展開図4」を追加.....	75
展開グループ「壁面外々展開」を作成.....	76
サポートを配置.....	78
パーツパターン「G」を作成.....	80
ハンガー（外々）を配置.....	82
棚（外々）を配置.....	83
パーツパターン「G」を確定.....	84
展開詳細図レイヤへ移動.....	85
<b>展開図から部品を集計する.....</b>	<b>86</b>
部品表を作成.....	86
パーツリストを生成.....	88
<b>作成した部品を変更する.....</b>	<b>89</b>
サポートを一括変更.....	90
パーツパターンを変更.....	91
ハンガーを変更.....	92
棚を変更.....	93
ロコポイントを削除.....	94
パーツパターンを削除.....	95
<b>展開グループを活用する.....</b>	<b>96</b>
上面グループを配置.....	96
展開グループを編集.....	98
展開グループを複製.....	99
展開グループを削除.....	100
展開グループを取り出す.....	101
展開グループを取り込む.....	102

# はじめに

パーツを「描く」パーツを「集計する」を簡単に。今までの図面作成上の面倒な描画とパーツ発注の際のわずらわしさを軽減し、作業時間を短縮出来る画期的なプラグインです。

rovic には次の機能があります。

- ・ 平面図から展開図を作成
- ・ 展開図から展開詳細図（三面図）を作成
- ・ 平面図、または展開図から部品集計
- ・ パーツリストを作成

# インストール

## Windows 版

### 1. rovic installer をダブルクリック

rovic installer が起動されます。



### 2. [次へ] をクリック

使用許諾画面が表示されます。



### 3. [同意する] をクリック

### 4. [選択 ...] をクリック

Vectorworks がインストールされているフォルダを選択してください。

例 1) C: ¥ Program Files ¥ VectorWorks125J100

例 2) C: ¥ Program Files ¥ VW12J100\_Net

### 5. [次へ] をクリック

インストールが開始されます。

これで、インストールが完了しました。

## Mac 版

### 1. rovic installer をダブルクリック

rovic installer が起動されます。



### 2. [次へ] をクリック

使用許諾画面が表示されます。



### 3. [同意する] をクリック

### 4. [選択 ...] をクリック

Vectorworks がインストールされているフォルダを選択してください。

例 1) ¥ Applications ¥ VectorWorks125J100

例 2) ¥ Applications ¥ VW12J100\_Net

### 5. [次へ] をクリック

インストールが開始されます。

これで、インストールが完了しました。

# rovic 起動

## Vectorworks 11.5

1. Vectorworks を起動
2. 【ファイル】 → 【作業画面】 → 【rovic】 を実行  
これで、rovic が起動できました。

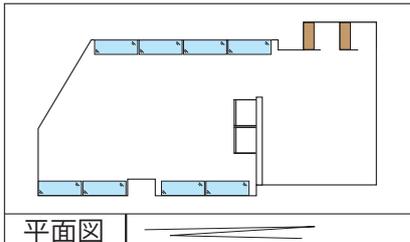
## Vectorworks 12.5 以降

1. Vectorworks を起動
2. 【ツール】 → 【作業画面】 → 【rovic】 を実行  
これで、rovic が起動できました。

# 用語説明

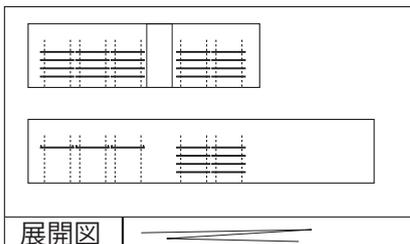
rovic を利用する上で、使用する用語を説明します。

## 平面図



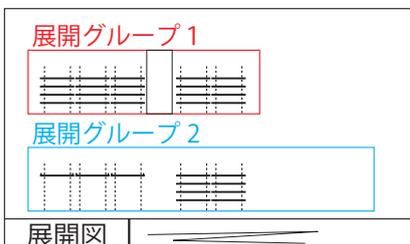
フロア全体が確認できる図です。お客様にご用意していただくものです。

## 展開図



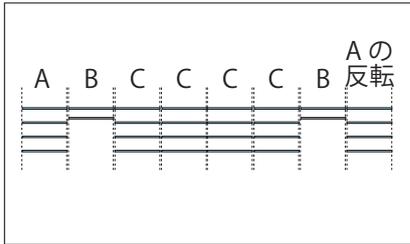
間口や什器配置などがわかるように各壁面を示した図です。【展開図レイヤ追加】メニューで展開図を描くレイヤを作成します。

## 展開グループ



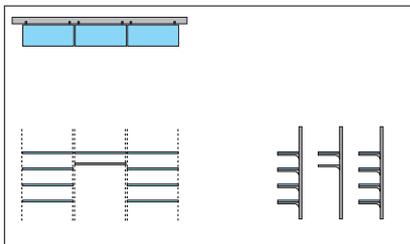
展開詳細図（三面図）を作成するための単位です。サポートとロコポイントには展開グループに直接配置します。ハンガーと棚はパーツパターンで定義してから展開グループに配置します。

## パーツパターン



サポート間に配置するハンガーと棚をパターンとして定義します。定義したパターンは別の場所でも使用できます。左図のような同じパターンが連続する場合は、再利用が容易です。

## 展開詳細図



展開グループの三面図です。展開グループを作成すると、次の3つの図が自動生成されます。

### 上面図（上面グループ）

展開グループを上から見た図です。

### 正面図

展開グループを正面から見た図です。

### 側面図

展開グループを側面から見た図です。

## パーツリスト


展開図で配置した部品を集計した一覧表です。

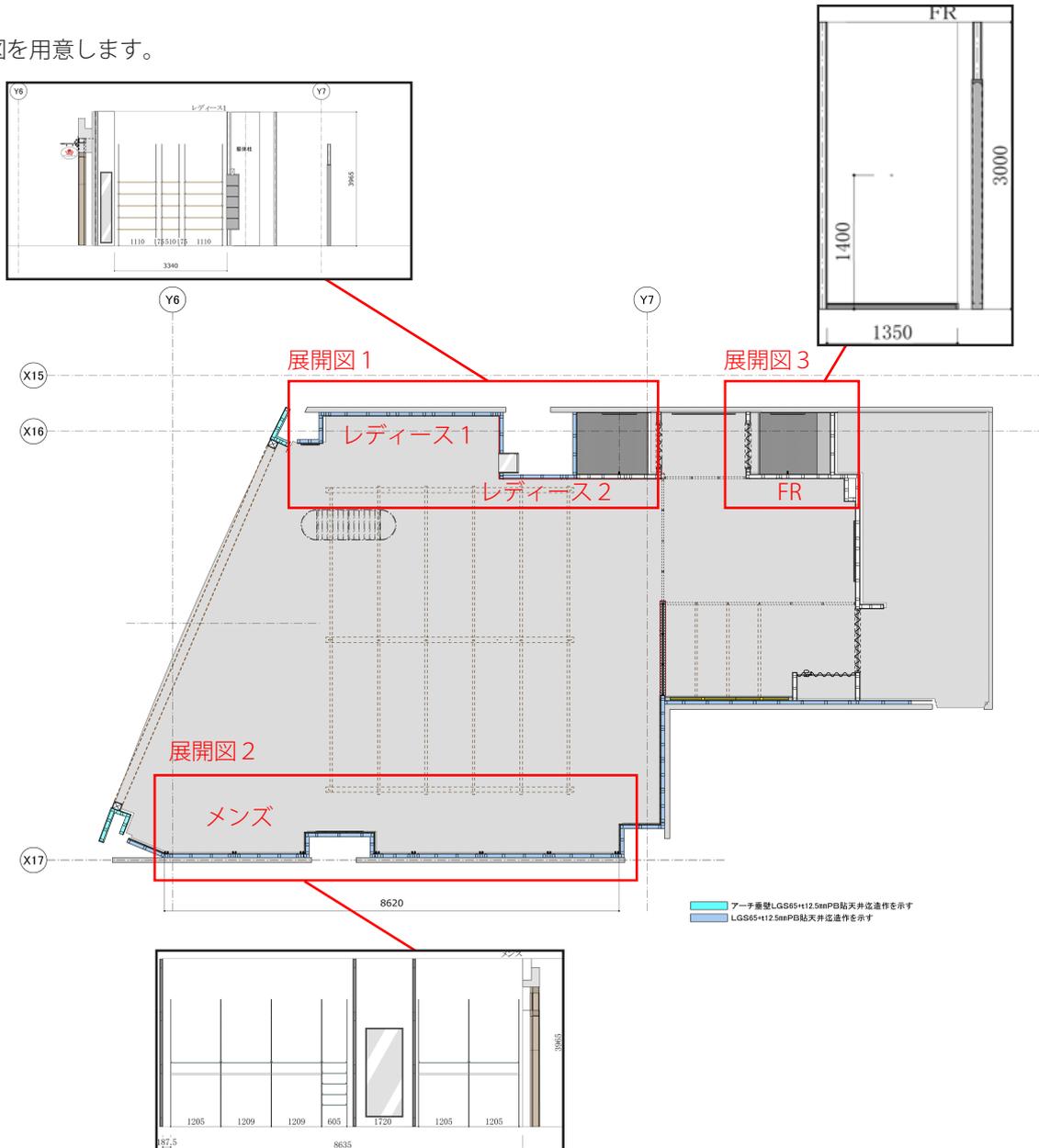
# コマンド

rovic には、次のコマンドが用意されています。

- ・[新規上面グループ] ツール
- ・[上面グループ配置] ツール
- ・[新規展開グループ] ツール
- ・[サポート] ツール
- ・[パーツパターン] ツール
- ・[ロコポイント] ツール
- ・[ハンガー] ツール
- ・[棚] ツール
- ・【展開図レイヤ追加】メニュー
- ・【展開グループ編集】メニュー
- ・【展開グループ複製】メニュー
- ・【展開グループ削除】メニュー
- ・【展開グループ取り出し】メニュー
- ・【展開グループ取り込み】メニュー
- ・【サポート一括変更】メニュー
- ・【ロコポイント削除】メニュー
- ・【パーツパターン削除】メニュー
- ・【ハンガー変更】メニュー
- ・【棚変更】メニュー
- ・【パーツパターン確定】メニュー
- ・【レイヤ切り替え】メニュー
- ・【部品表作成】メニュー
- ・【パーツリスト生成】メニュー

# 平面図から展開図を作成する

平面図を用意します。



作成例として、この平面図から3つの展開図、3つの展開グループを作成します。

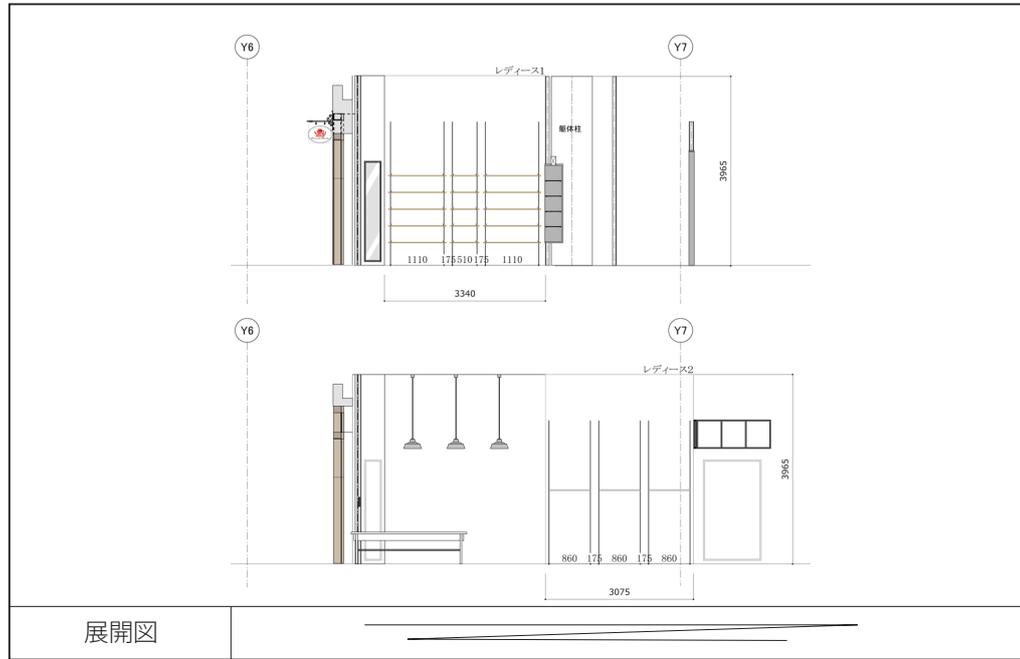
展開図1に、展開グループ「レディース1」と「レディース2」を作成します。

展開図2に、展開グループ「メンズ」を作成します。

展開図3に、展開グループ「FR」を作成します。

# 展開図 1 を作成

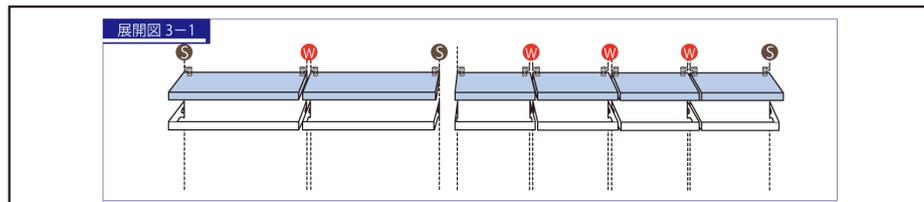
次の展開図を作成します。



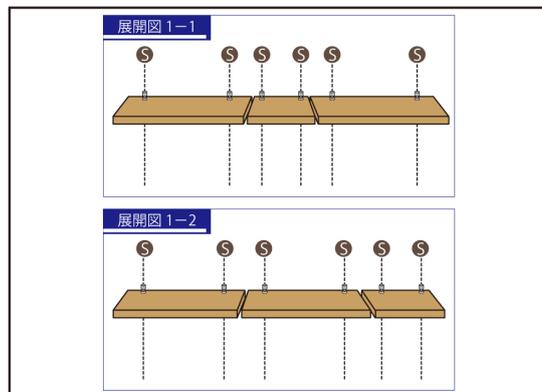
展開図

展開図には、複数の展開グループを作成することができます。

例 1) ひとつの展開図レイヤにひとつの展開グループ



例 2) ひとつの展開図レイヤに複数の展開グループ



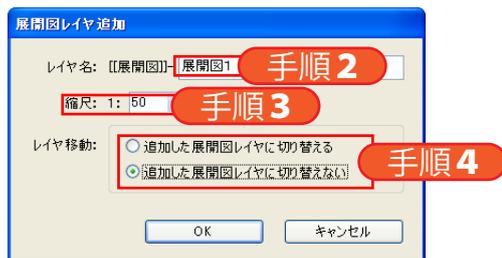
ここでは、例 2 のような展開図を作成します。

## レイヤ「展開図1」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。

### 操作手順：

1. 【◆平面図◆】 → 【展開図レイヤ追加...】 を実行  
次のダイアログが表示されます。



2. [レイヤ名] を「展開図1」に変更
3. [縮尺] を「50」に変更
4. [レイヤ移動] を「追加した展開図レイヤに切り替えない」に変更
5. [OK] をクリック

これで、レイヤ「展開図1」が追加されました。

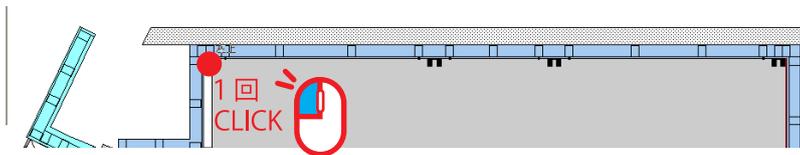
## 展開グループ「レディース1」を作成

平面図に棚やハンガーなどを配置する位置を指定します。指定が完了すると、展開図レイヤに移動します。

### 操作手順：

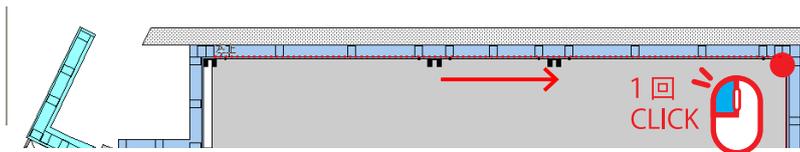
1. [新規上面グループ] ツールを選択
2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



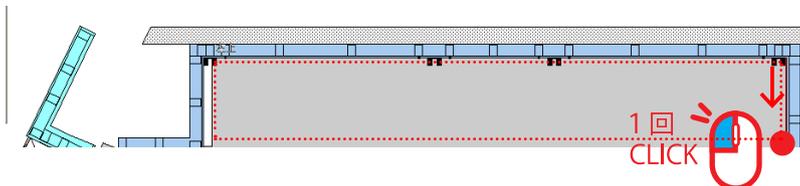
3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



4. 向きをクリック

奥行きが出る向きをクリックしてください。

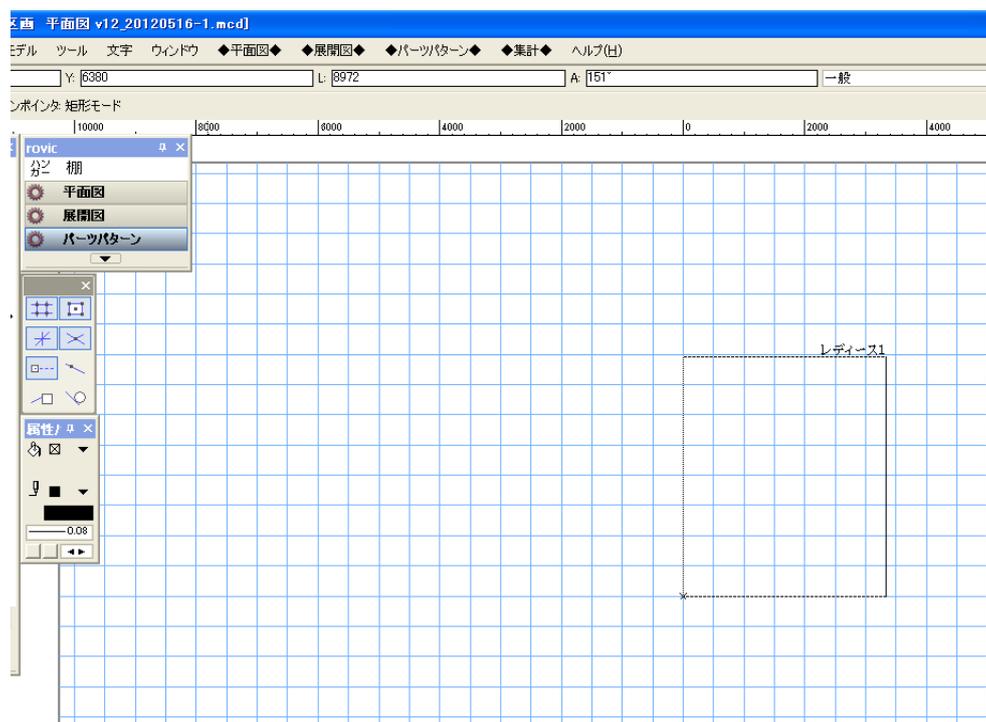


次のダイアログが表示されます。



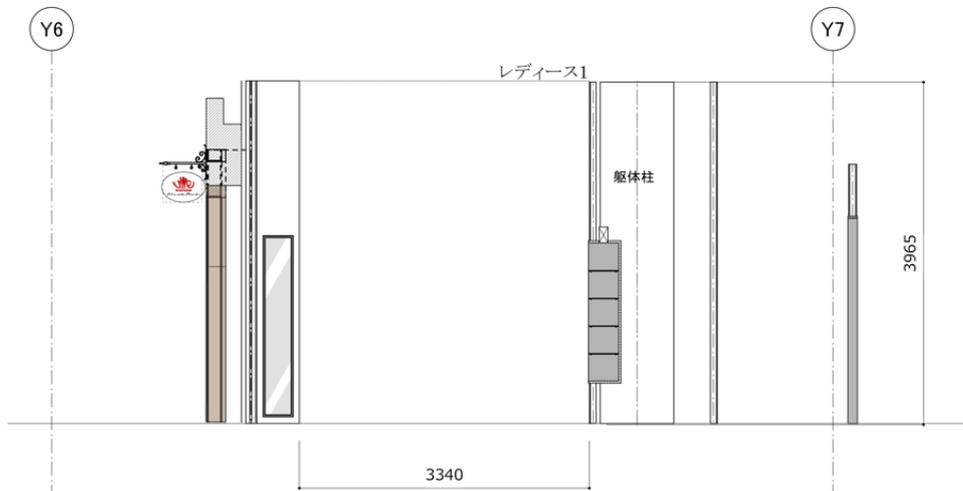
5. [展開グループ名] を「レディース1」に変更
6. [間口] を入力  
先ほど直線を引いた長さになります。問題なければ、そのままにしてください。
7. [高さ] を「3965」に変更
8. [展開図レイヤ] を先ほど追加した「[[ 展開図 ]]-展開図 1」に変更
9. [縮尺] を「1:20」に変更
10. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「レディース1」が作成されました。



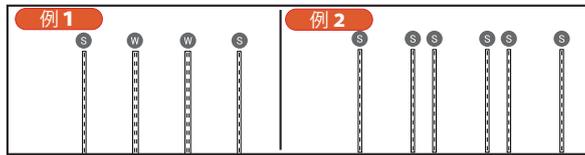
## 外観を作成

Vectorworks 標準ツールを使用して、展開図に躯体などを作成します。



## サポート（シングル-シングル）を配置

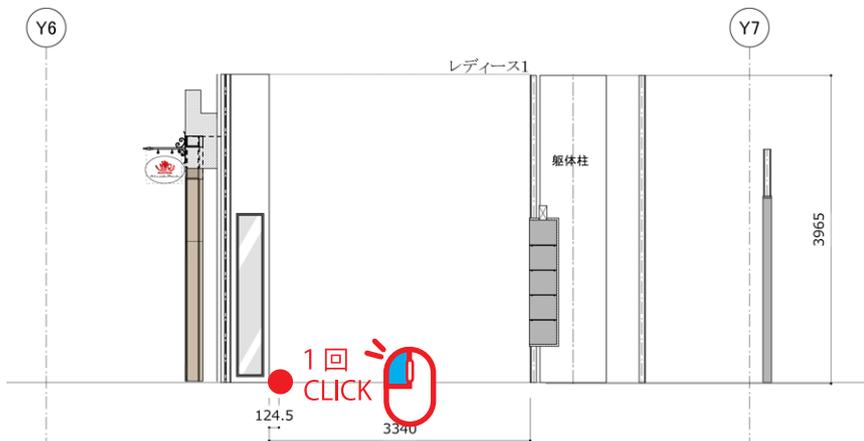
展開グループに、例2のサポートを配置します。



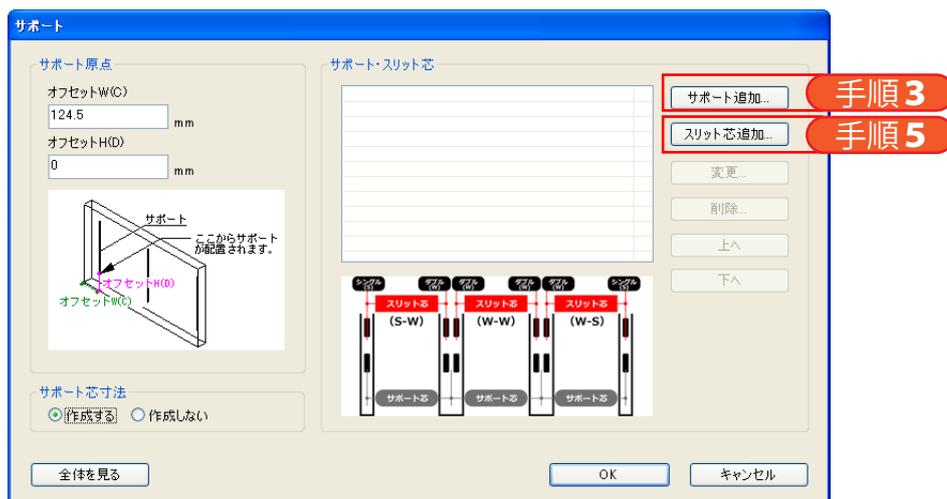
### 操作手順：

1. [サポート] ツールを選択
2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、展開グループ左下の基準点から X=124.5、Y=0 の位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。



3. [サポート追加...] をクリック

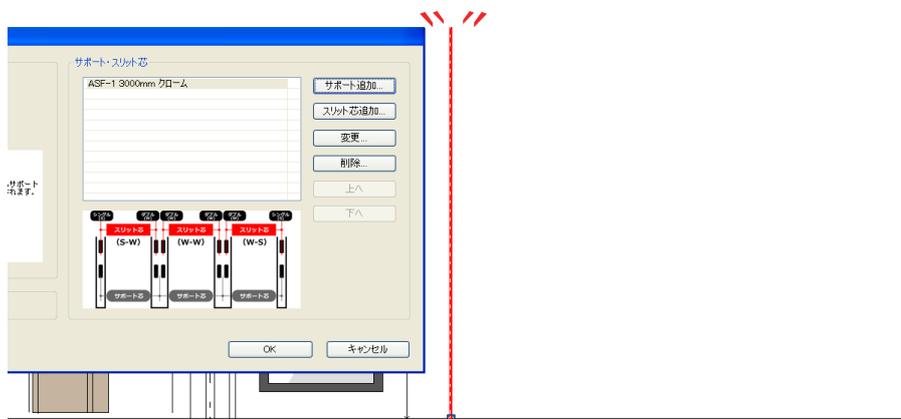
次のダイアログが表示されます。



一番左側のサポートを入力します。種類「ASF-1」、高さ「3000」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

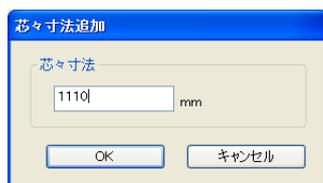
#### 4. [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。



#### 5. [スリット芯追加 ...] をクリック

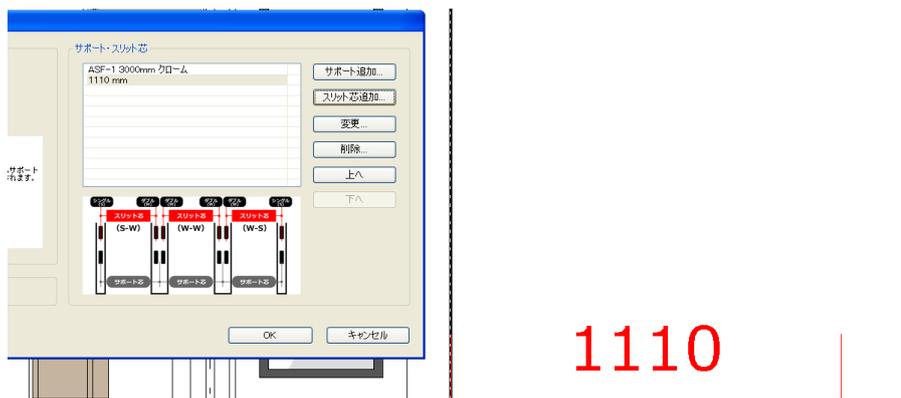
次のダイアログが表示されます。



先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離を「1110」を入力します。

#### 6. [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。



1110

### 7. 3から6を繰り返す

続けて、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「510」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

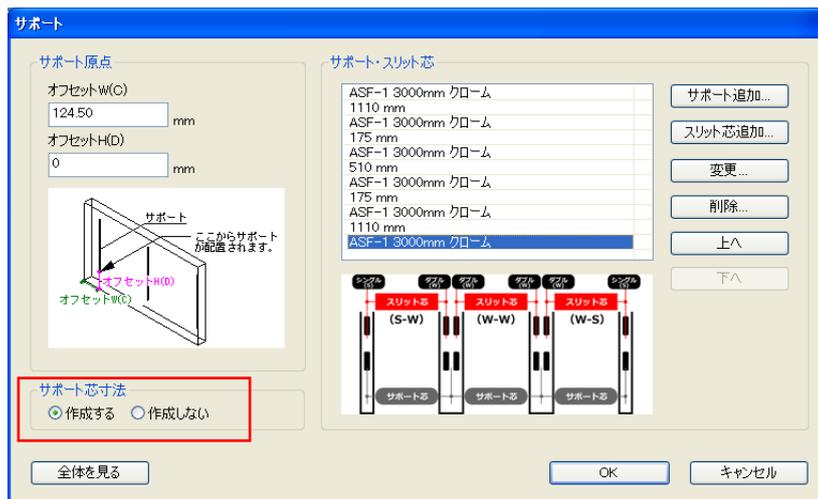
サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「1110」、

サポート「ASF-1、3000」

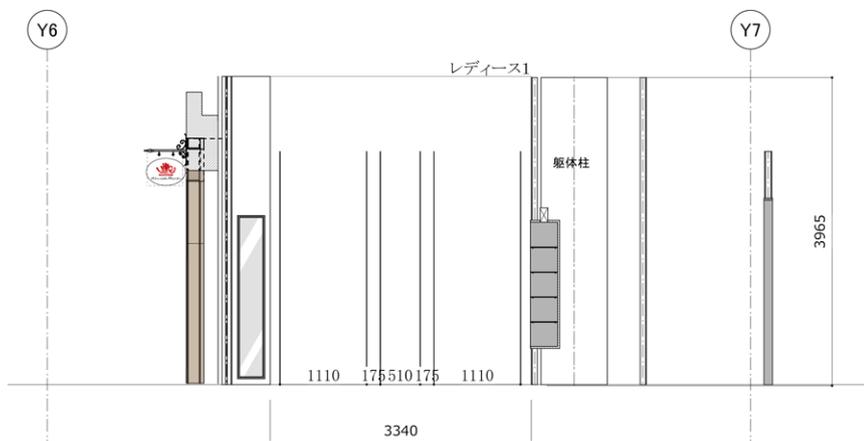
を追加します。

### 8. [サポート芯寸法] を「作成する」に変更



### 9. [OK] をクリック

これで、サポートが配置されました。

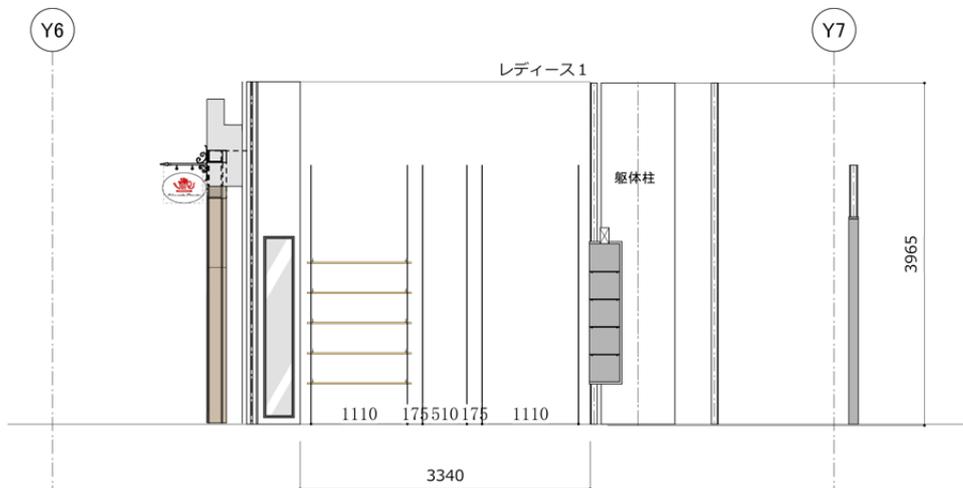


**サポートまたはスリット芯を変更したい場合**

ダイアログ表示中に変更したい場合は、サポートまたはスリット芯を選択し、[変更] をクリックしてください。  
[OK] をクリックした後に変更したい場合は、再び [サポート] ツールでサポート原点をクリックしてください。  
複数の展開グループのサポートを変更したい場合は、サポート一括変更の項目を参照してください。

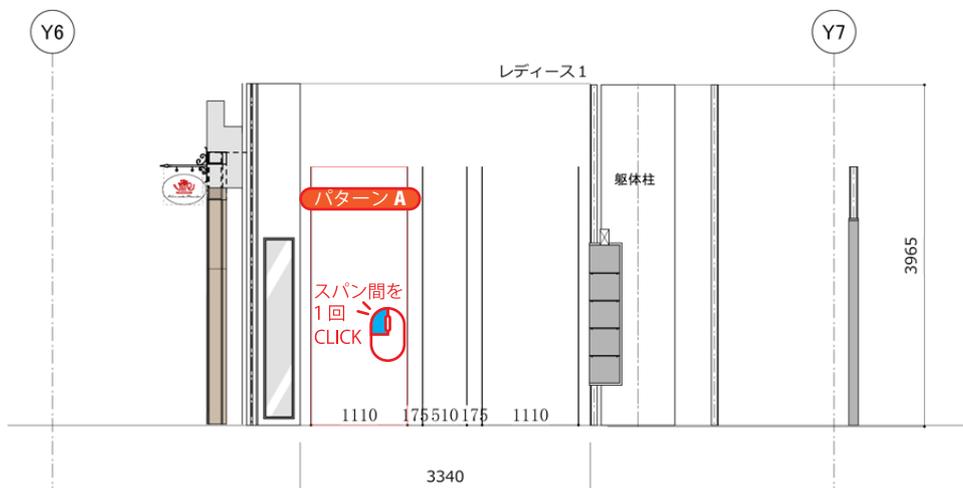
## パーツパターン「A」を作成

パーツパターンを次のように左端のサポート間に作成します。



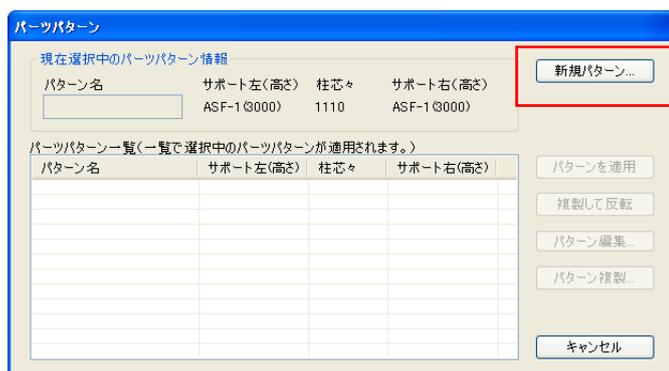
### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 左端のサポート間にマウスカーソルを移動  
赤い矩形が表示されます。



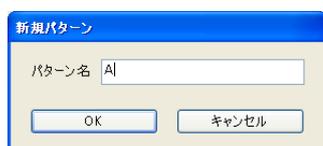
3. クリック

次のダイアログが表示されます。



4. [新規パターン...] をクリック

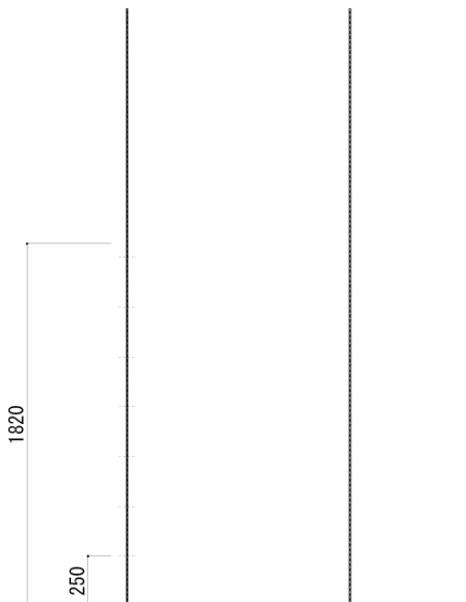
次のダイアログが表示されます。



5. [パターン名] を「A」に変更

6. [OK] をクリック

パーツパターンレイヤが表示されます。



これで、パーツパターン「A」ができました。ここに柵を配置していきます。

**注意：**

パーツパターンを作成すると、サポートの変更ができません。

## 木棚（外々）を配置

木棚を次の高さに配置します。

1850mm

1500mm

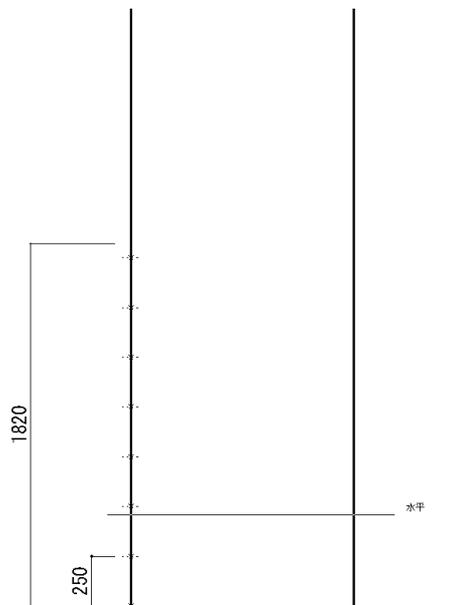
1150mm

800mm

450mm

### 操作手順：

1. [棚] ツールを選択
2. 450mm の高さに直線を引く

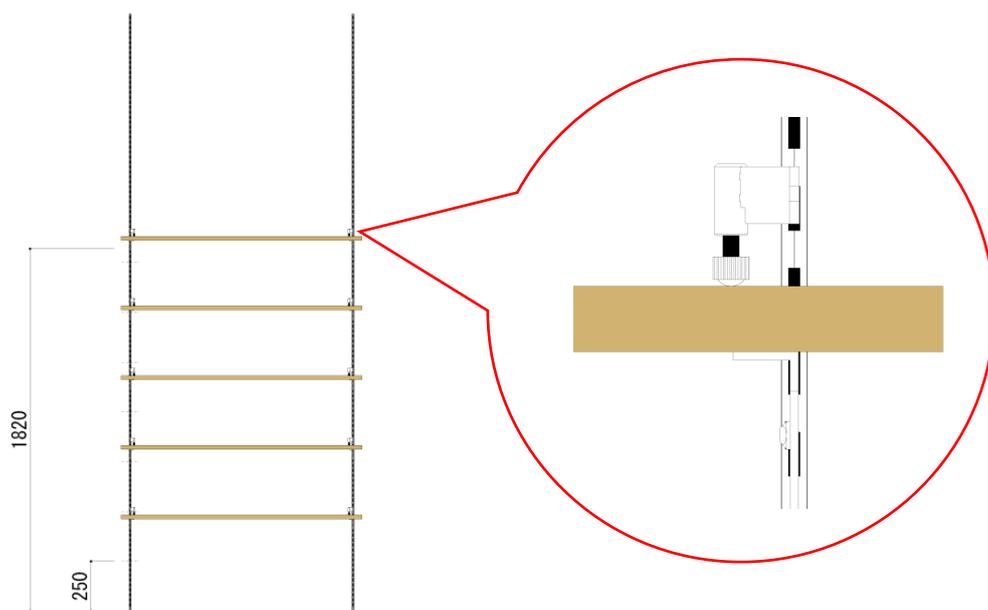


次のダイアログが表示されます。



3. [棚板の種類別] を「木棚」に変更
4. [W] を「1200」に変更
5. [奥行き] を「350」に変更
6. [棚名称] を「木棚」に変更
7. [棚厚] を「20」に変更
8. [ブラケット] を「R-033W」、「R-032W」に変更
9. [OK] をクリック

これで、棚が配置できました。つづけて、800mm、1150mm、1500mm、1850mmの高さに同じ棚を配置してください。



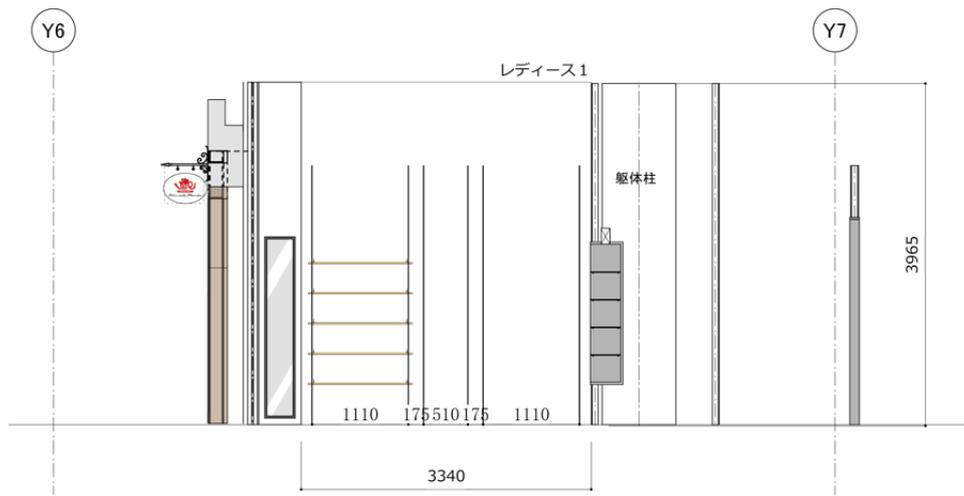
## パーツパターン「A」を確定

パーツパターンレイヤに配置した棚を展開図に適用します。

### 操作手順：

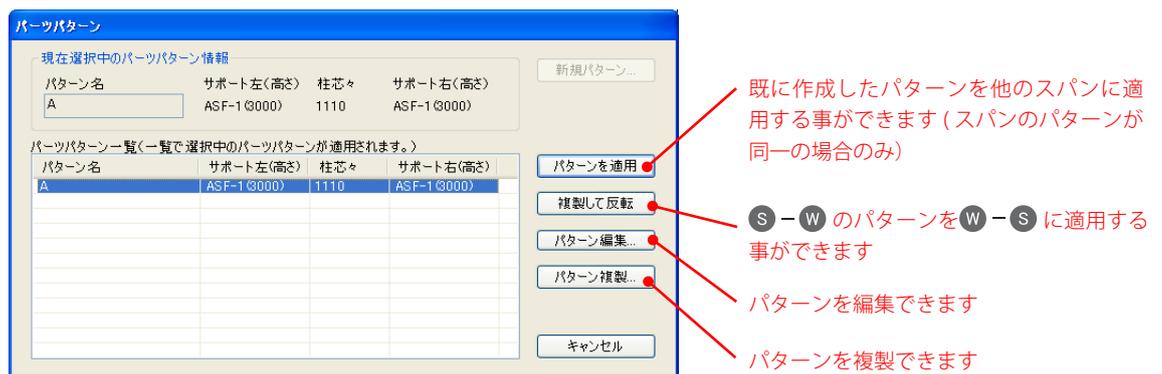
1. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行

これで、展開図にパーツパターン「A」が適用されました。



### パーツパターンを再編集したい場合

パーツパターンを再編集したい場合は、[パーツパターン] ツールで、もう一度同じサポート間をクリックしてください。次のダイアログが表示されます。



[パターン編集...] をクリックしてください。これで、パーツパターンの編集ができます。

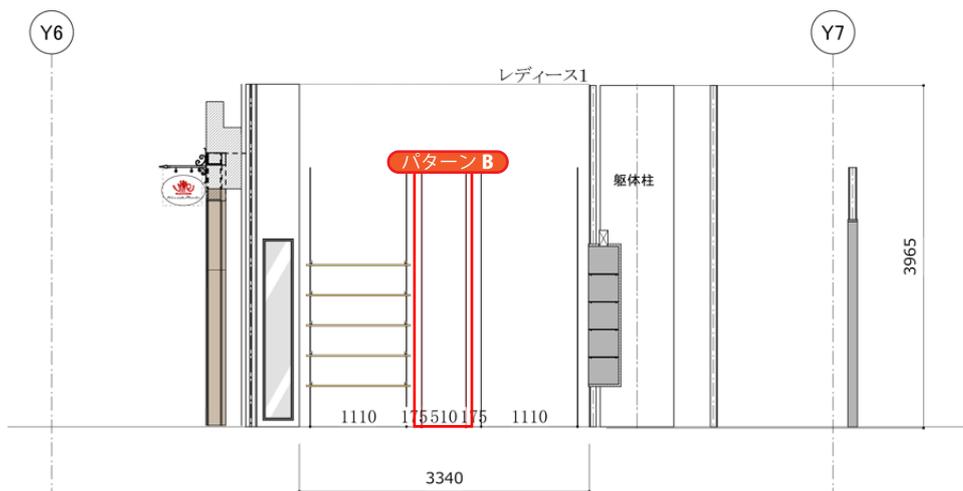
## パーツパターン「B」を作成

中央のサポート間にパーツパターンBを作成します。操作手順は、パーツパターンAを作成した手順と同じです。

### 操作手順：

#### 1. [パーツパターン] ツールを選択

[パターン名]「B」のパーツパターンを中央のサポート間に作成します。

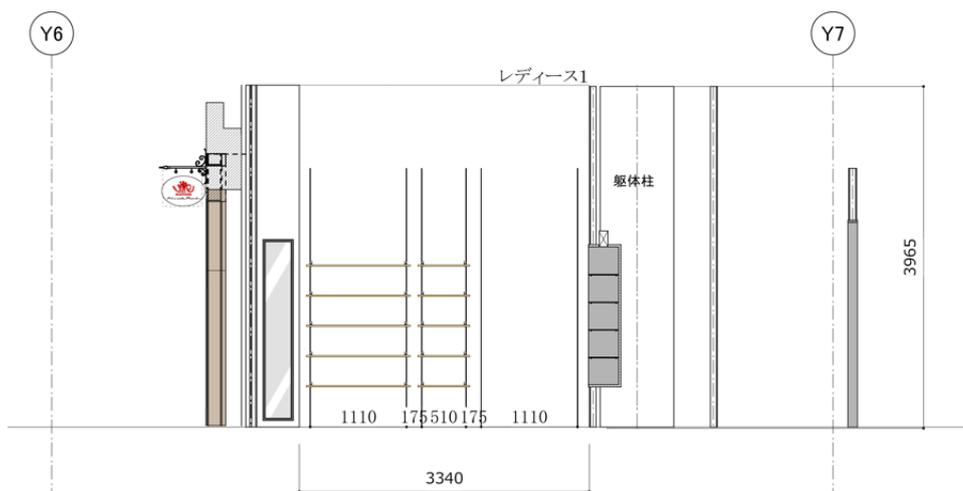


#### 2. [棚] ツールを選択

[W] を「600」に変更し、パーツパターン「A」と同じ位置に同じ棚を配置します。

#### 3. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行

これで、パーツパターン「B」ができました。

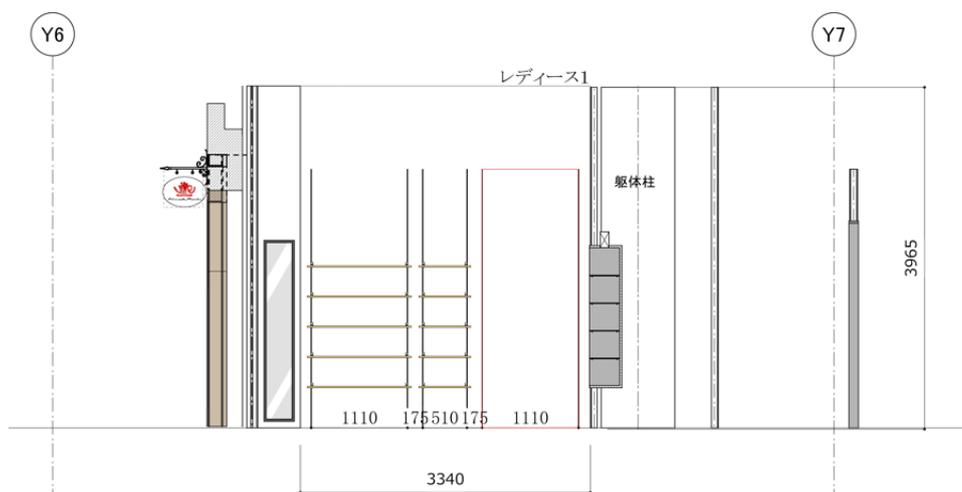


## パーツパターン「A」を適用

左端と同じパーツパターンを右端のサポート間に適用します。

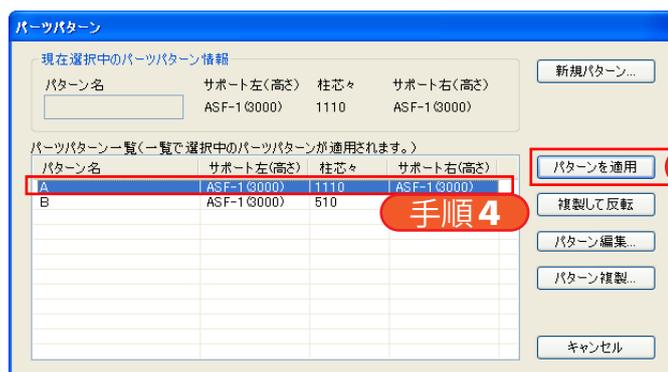
### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 右端のサポート間にマウスカーソルを移動  
赤い矩形が表示されます。



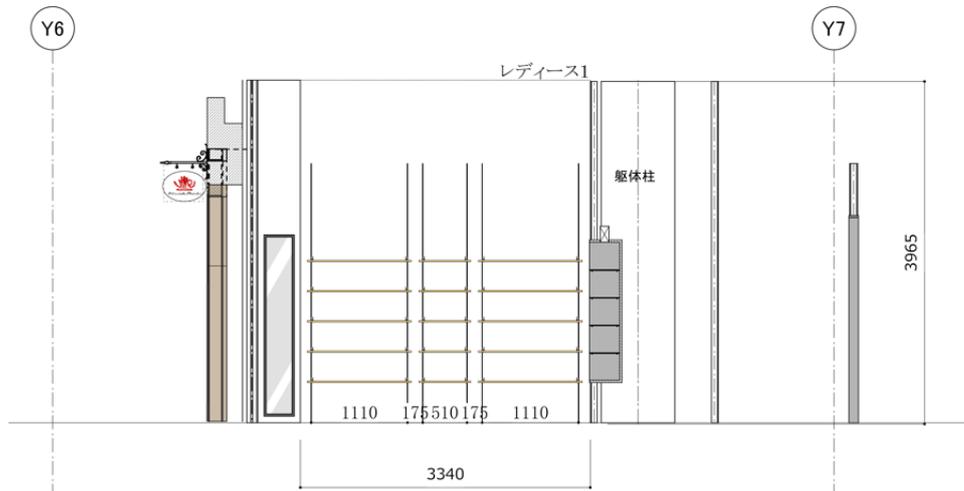
### 3. クリック

次のダイアログが表示されます。



4. [パーツパターン] 「A」を選択
5. [パターンを適用] をクリック

これで、展開図にパーツパターン「A」が適用されました。



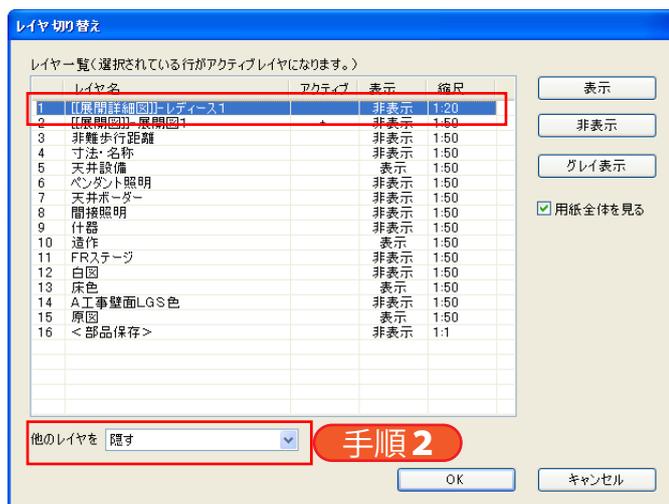
## 展開詳細図レイヤへ移動

パーツパターンを適用（またはパーツパターン確定）すると、バックグラウンドで自動的に展開詳細図（三面図）が作成されます。展開詳細図レイヤに移動して、展開詳細図を確認します。

### 操作手順：

1. 【◆集計◆】 → 【レイヤ切り替え...】 を実行

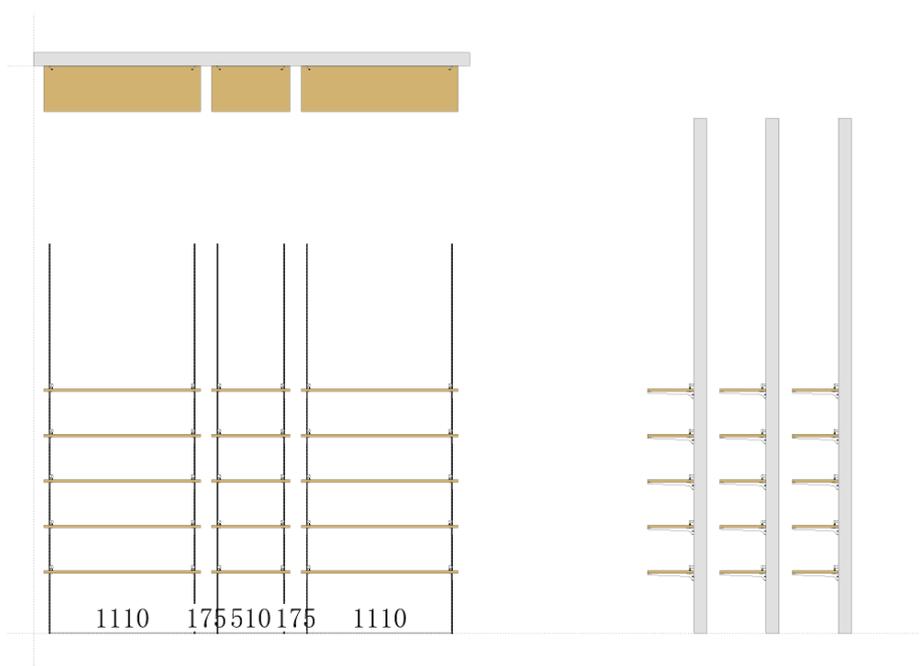
次のダイアログが表示されます。



2. [他のレイヤを] 「隠す」 に変更

3. [レイヤ名] 「[[ 展開詳細図 ]]- レディース1」 をダブルクリック

これで、展開詳細図に移動されました。展開詳細図が配置されているか確認してください。



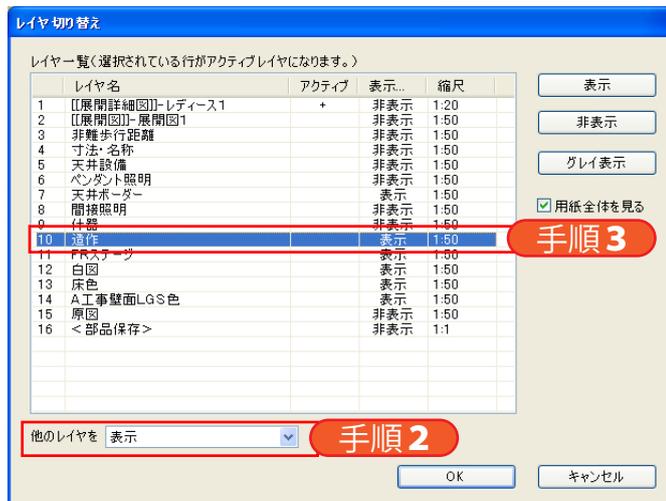
## 平面図レイヤへ移動

パーツパターンを適用（またはパーツパターン確定）すると、バックグラウンドで自動的に平面図に展開グループを上から見た上面図が作成されます。平面図レイヤに移動して、上面図を確認します。

### 操作手順：

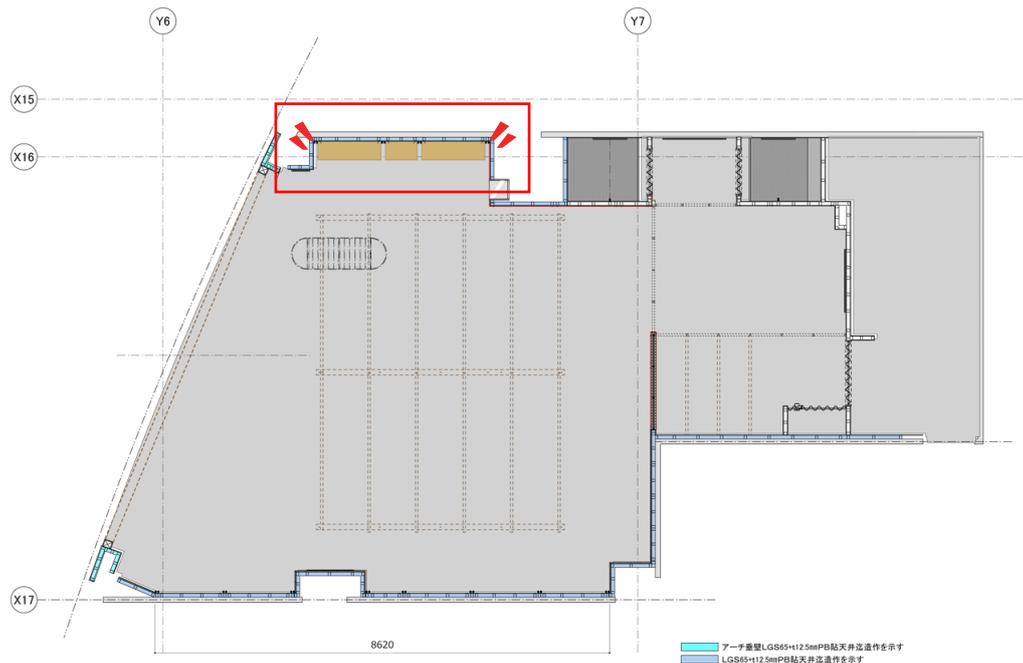
1. 【◆集計◆】 → 【レイヤ切り替え...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



2. [他のレイヤを] 「表示」 に変更
3. ここでは [レイヤ名] 「造作」 をダブルクリック

これで、平面図に移動されました。展開グループの上面が配置されているか確認してください。



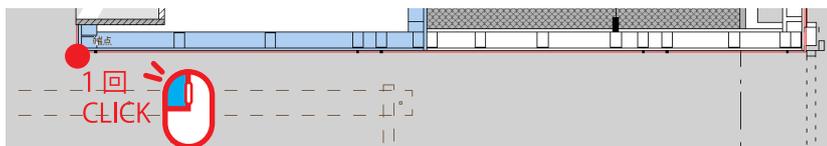
## 展開グループ「レディース2」を作成

レディース1と同じ展開図にレディース2を作成します。

### 操作手順：

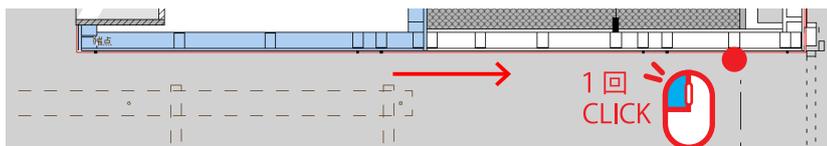
1. [新規上面グループ] ツールを選択
2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



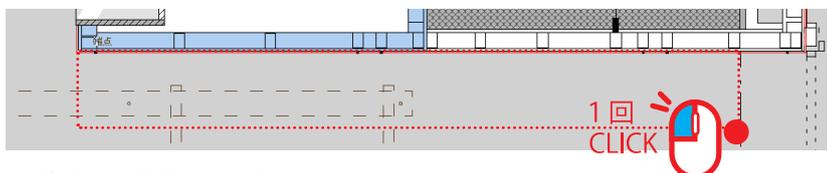
3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



4. 向きをクリック

上下、左右の奥行きが出る向きをクリックしてください。



次のダイアログが表示されます。

新規上面グループ

展開グループ名(同じ展開グループ名は作成できません。)  
レディース2

**手順5**

作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH
レディース1	3340.00	3965	124.5	0

展開寸法

間口(A)  mm **手順6**

高さ(B)  mm **手順7**

展開図レイヤ  
[[展開図]-展開図1] 縮尺 1:50 **手順8**

展開詳細図(三面図)レイヤ  
[[展開詳細図]]-(展開グループ名) 縮尺  1:10  1:20 **手順9**

OK キャンセル

5. 展開グループ名を「レディース2」に変更

6. [間口] を入力

先ほど直線を引いた長さになります。問題なければ、そのままにしてください。

7. [高さ] を「3965」に変更

8. [展開図レイヤ] を「[[ 展開図 ]]- 展開図 1」に変更

9. [縮尺] を「1:20」に変更

10. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「レディース 2」が作成されました。

**注意：**

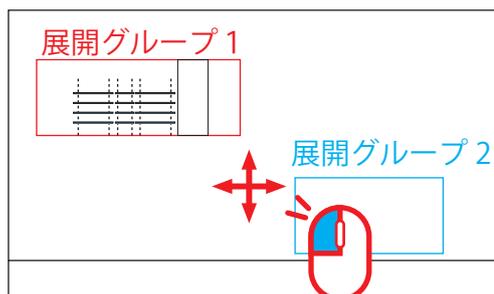
[新規上面グループ] ツールで展開グループを複数作成すると、同じ位置に作成されます。展開グループを移動し、見やすくするには次のページの展開グループを移動の項目を参照してください。

## 展開グループを移動

展開グループを移動し、展開図を見やすくします。

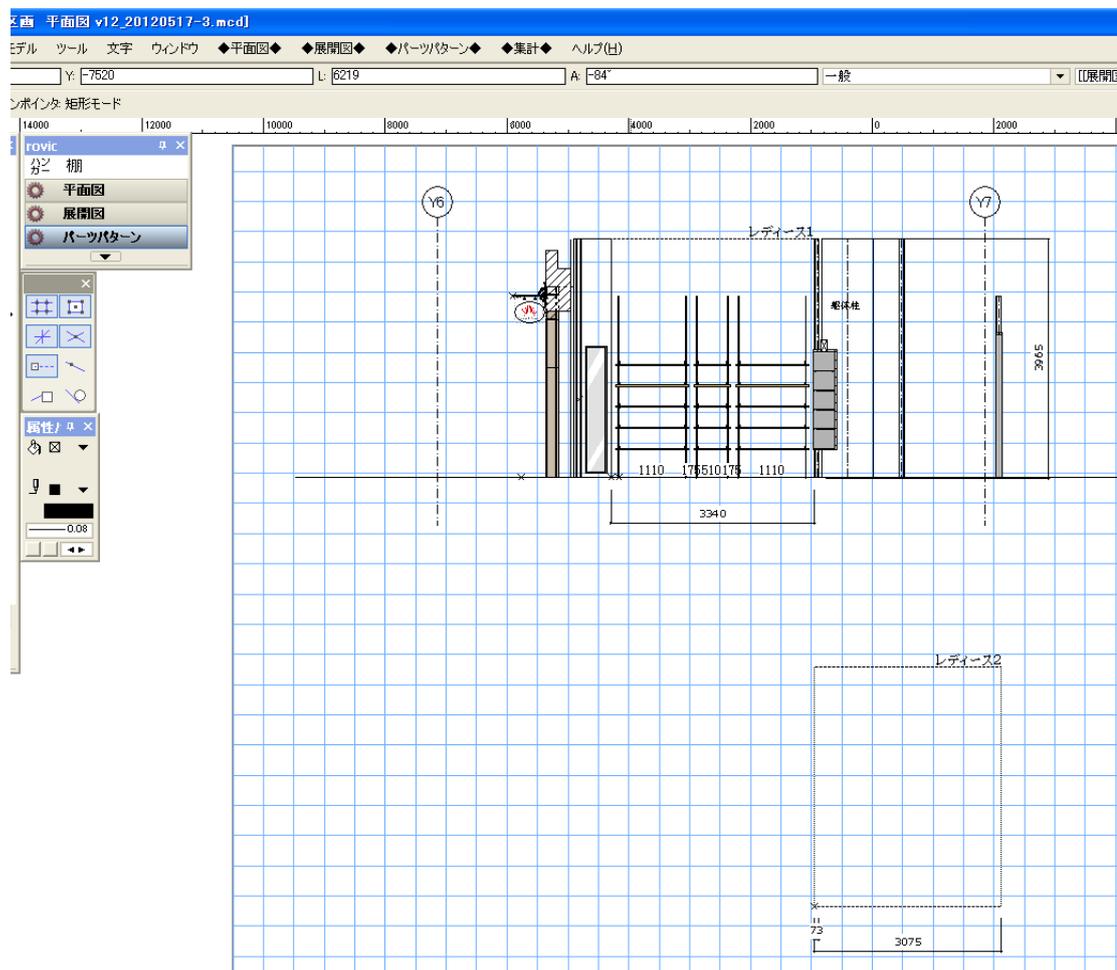
操作手順：

1. [2D セレクションポイント] ツールを選択
2. 展開グループ「レディース2」をドラッグ



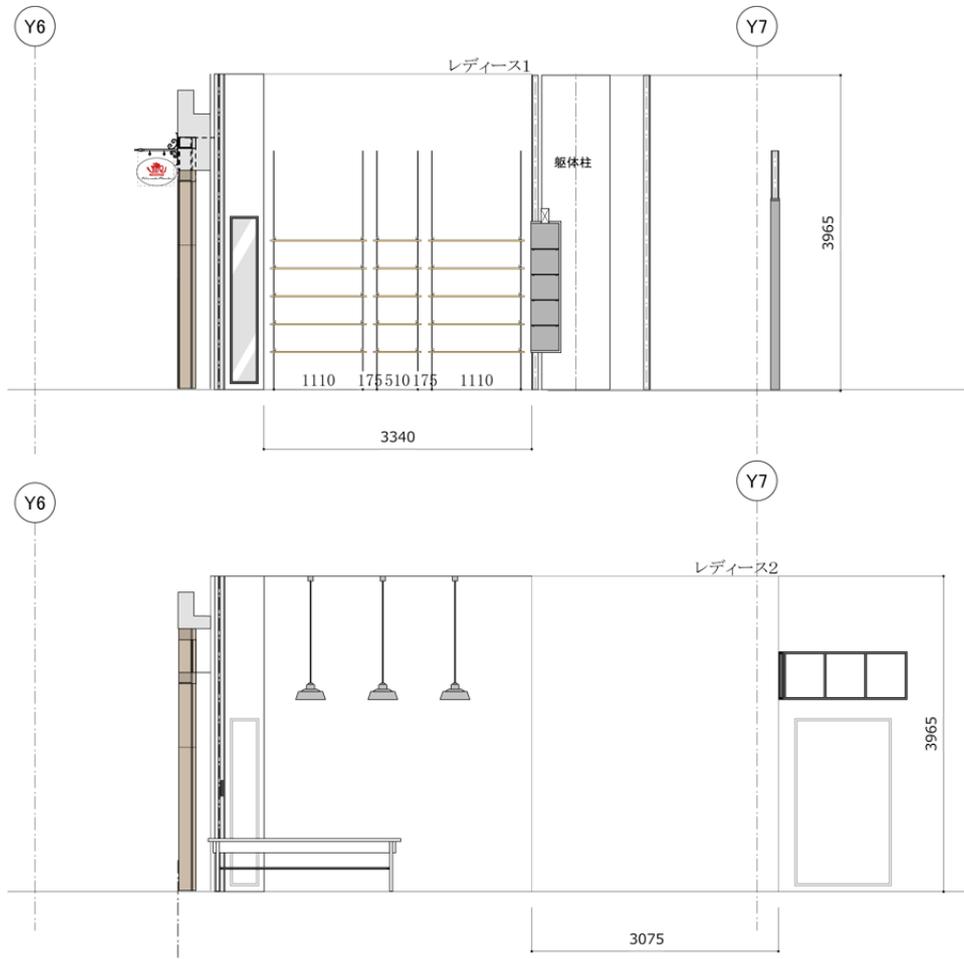
3. 配置したい位置でドロップ

これで、展開グループを移動できました。



## 外観を作成

必要に応じて展開図に躯体などを作成します。rovic ではなく VectorWorks ツールで描きます。



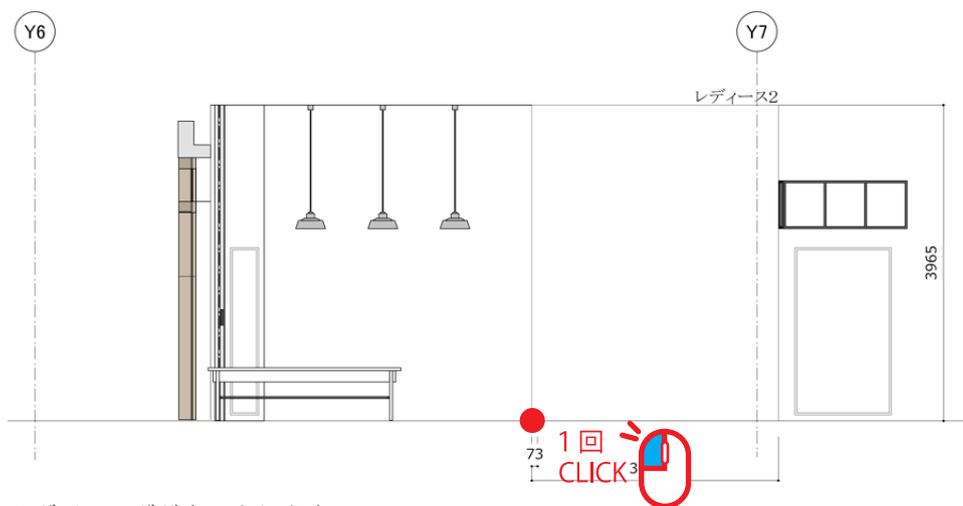
## サポート（シングル-シングル）を配置

展開グループ「レディース2」にサポートを配置します。

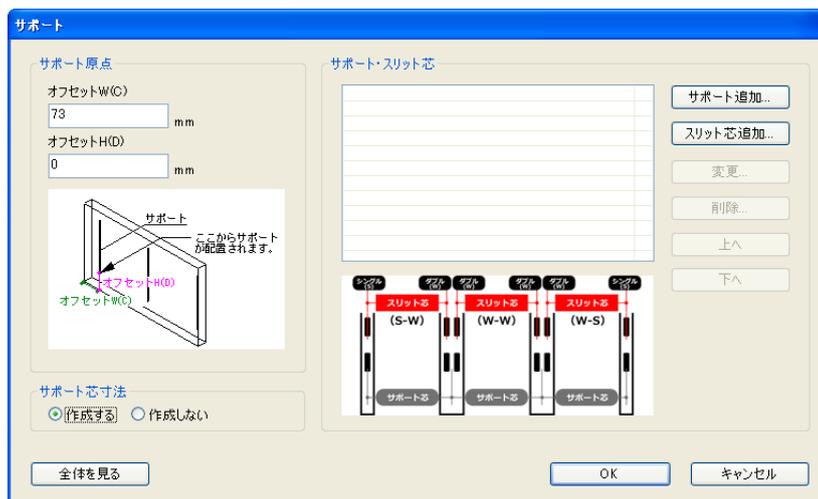
### 操作手順：

1. [サポート] ツールを選択
2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、展開グループ左下の基準点から X=73、Y=0 の位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。



3. [サポート追加...] をクリック

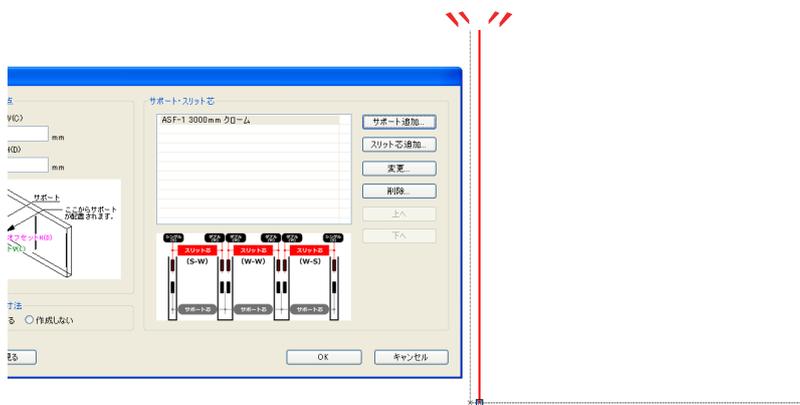
次のダイアログが表示されます。



一番左側のサポートを入力します。種類「ASF-1」、高さ「3000」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

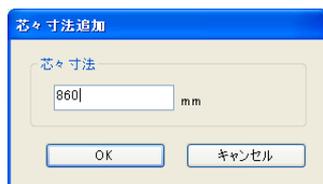
#### 4. [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。



#### 5. [スリット芯追加...] をクリック

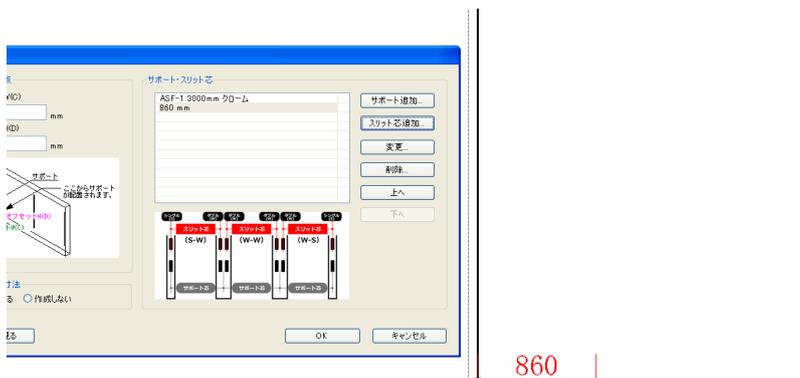
次のダイアログが表示されます。



先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離を入力します。ここでは、「860」を入力します。

#### 6. [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。



### 7. 3から6を繰り返す

続けて、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「860」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「175」、

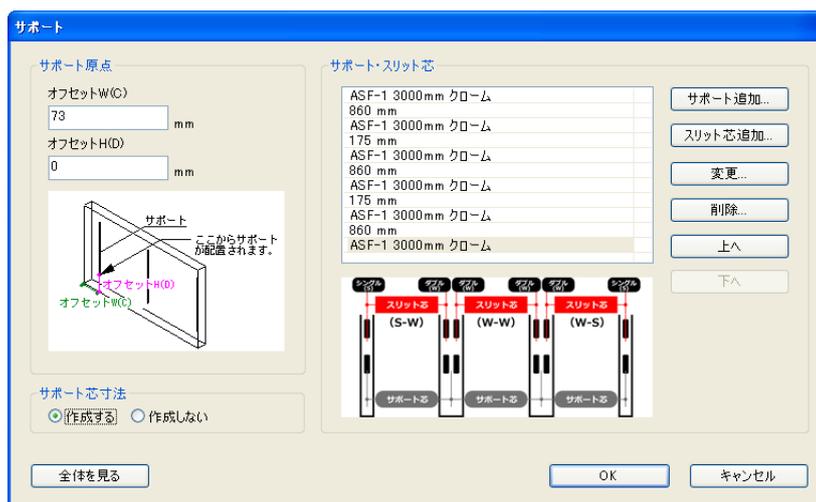
サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「860」、

サポート「ASF-1、3000」

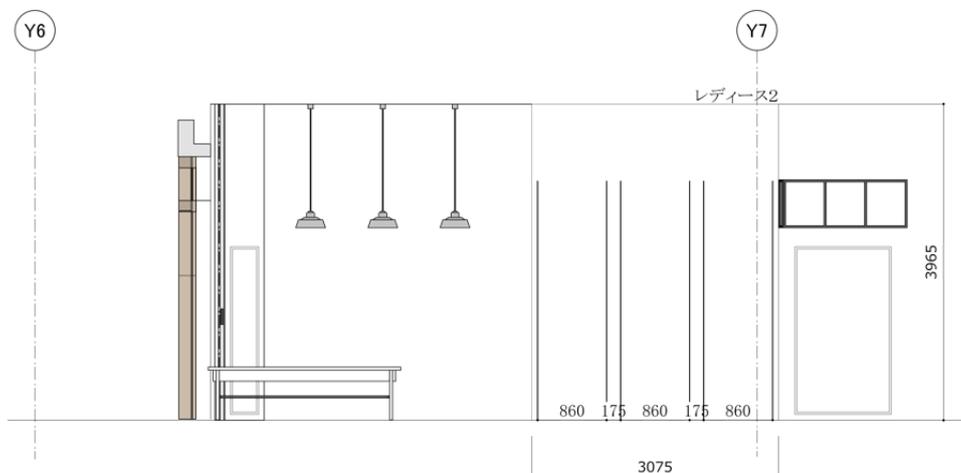
を追加します。

### 8. [サポート芯寸法] を「作成する」に変更



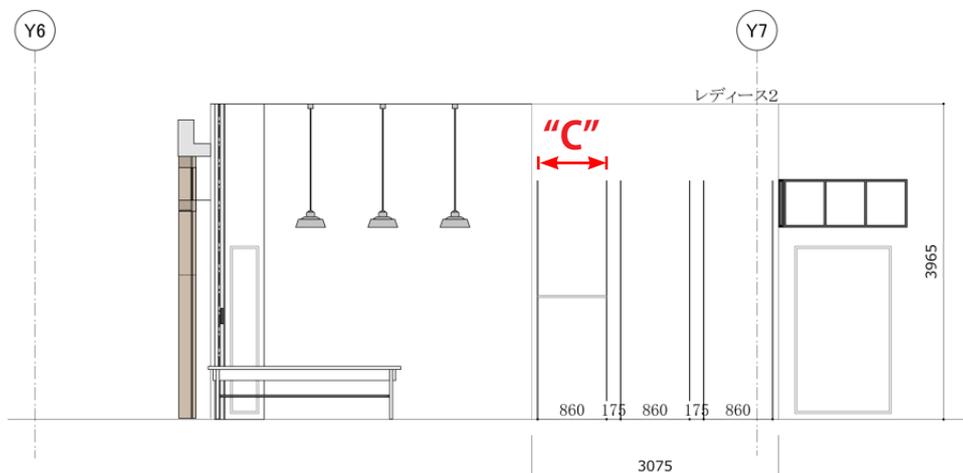
### 9. [OK] をクリック

これでサポートが配置されました。



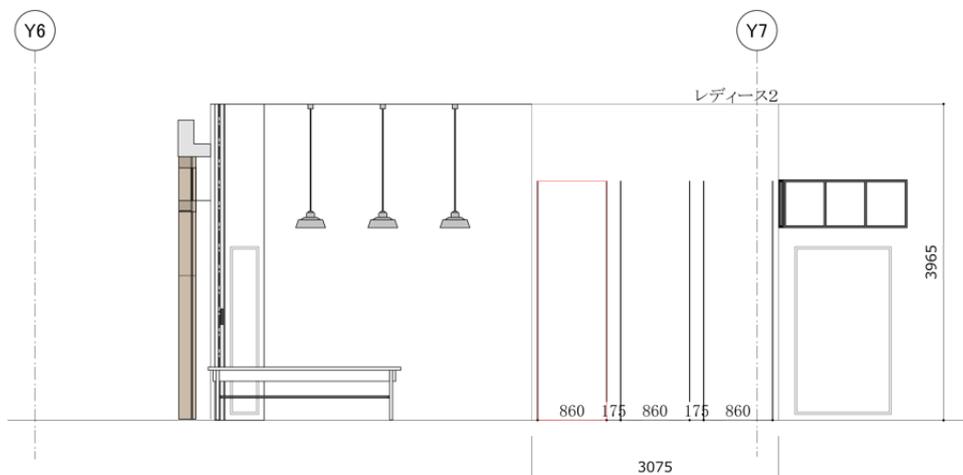
## パーツパターン「C」を作成

パーツパターンを次のように作成します。



### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 左端のサポート間にマウスカーソルを移動  
赤い矩形が表示されます。



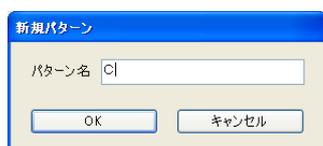
3. クリック

次のダイアログが表示されます。



4. [新規パターン...] をクリック

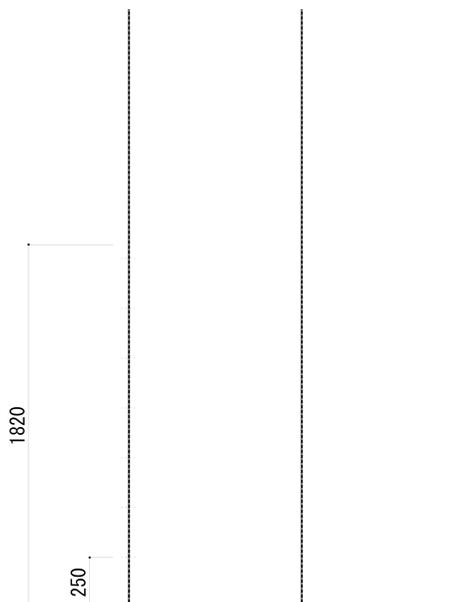
次のダイアログが表示されます。



5. [パターン名] を「C」に変更

6. [OK] をクリック

パーツパターンレイヤが表示されます。



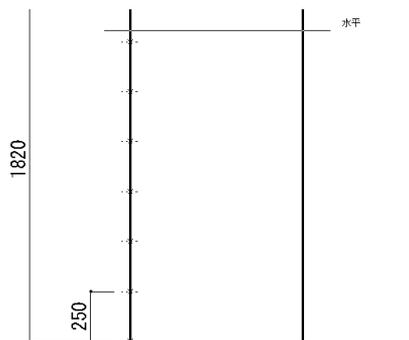
これで、パーツパターン「C」ができました。ここにハンガーを配置していきます。

## ハンガー（内々）を配置

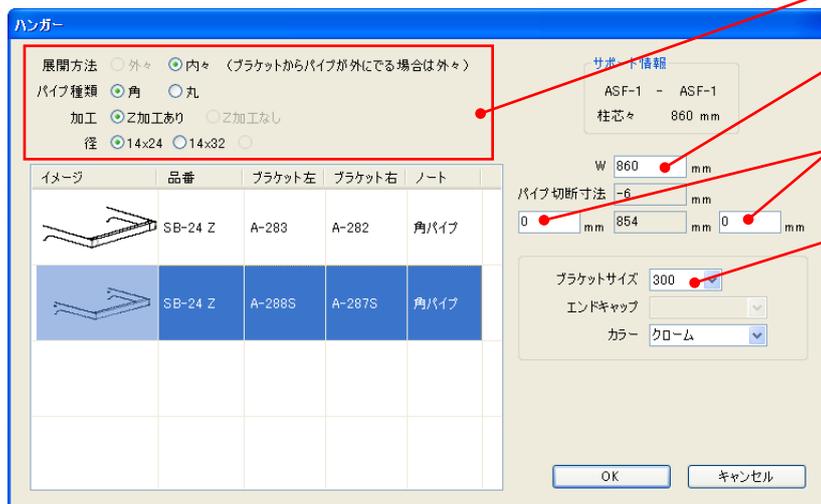
ハンガーを 1550mm の高さに配置します。

### 操作手順：

1. [ハンガー] ツールを選択
2. 1550mm の高さに直線を引く



次のダイアログが表示されます。

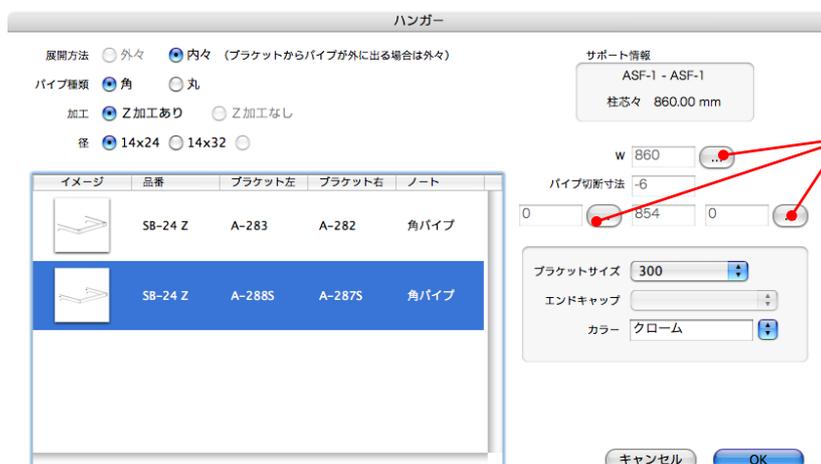


展開方法、パイプ種類、加工、  
径を選択すると、下のイラスト  
が絞り込まれます

棚のW(ワイド) 寸法を入力し  
ます

内々展開なので外側にはみ出  
す寸法は0です

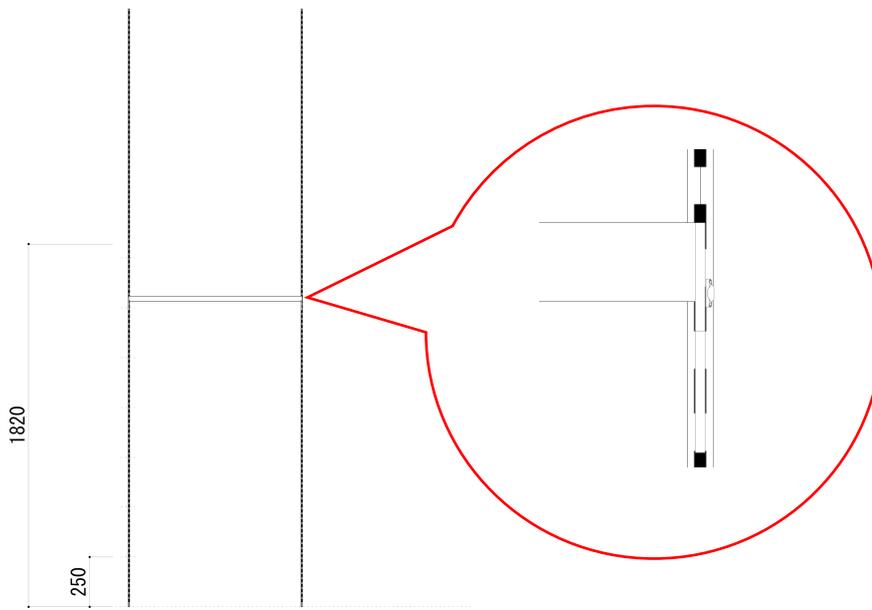
ブラケットのサイズ(呼び名)  
で、棚のD(奥行き) 寸法はブ  
ラケットのサイズに合わせて  
自動で決まります



Mac 版は数値を直接入力  
できません。数値入力カ  
ダイアログから値を入力し  
ます

3. [W] を「860」に変更
4. [ブラケットサイズ] を「300」に変更
5. [ブラケット] を「A-288S」、「A-287S」に変更
6. [OK] をクリック

これで、ハンガーが配置できました。



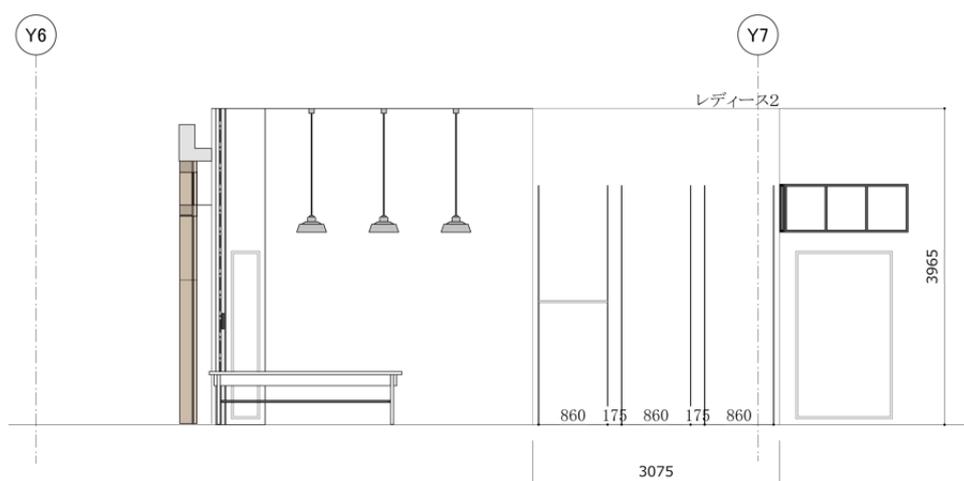
## パーツパターン「C」を確定

パーツパターンレイヤに配置したハンガーを展開図に適用します。

### 操作手順：

1. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行

これで、展開図の左端のサポート間にパーツパターン「C」が適用されました。



## パーツパターン「C」を適用

パーツパターンCを中央と右端のサポート間に適用します。

### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 中央のサポート間にマウスカーソルを移動  
赤い矩形が表示されます。



3. クリック

次のダイアログが表示されます。

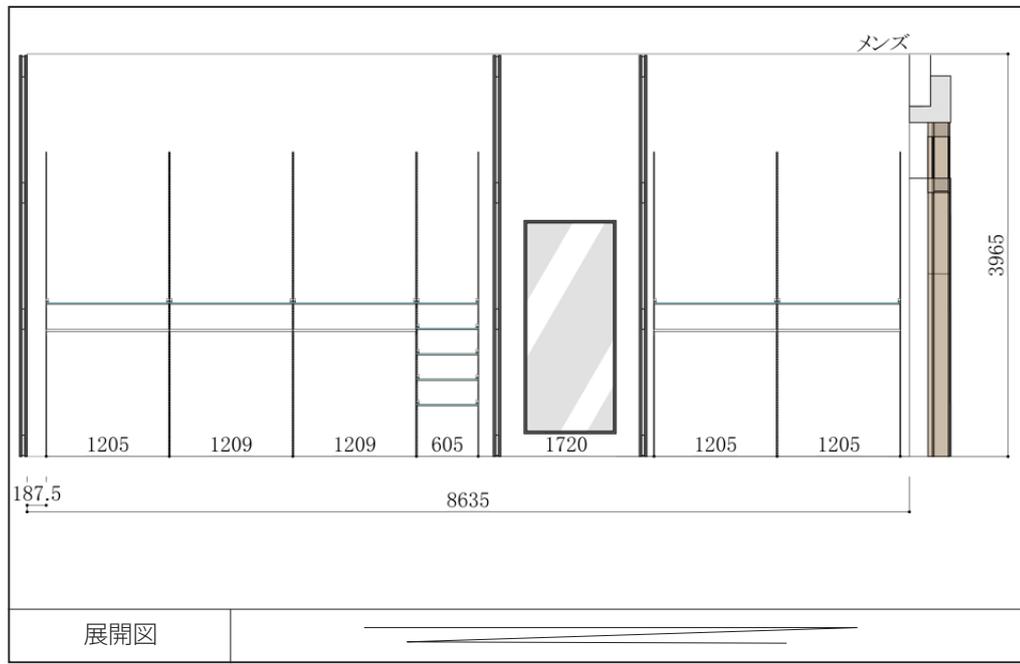


4. [パーツパターン] 「C」を選択
5. [パターンを適用] をクリック



## 展開図 2 を作成

次の展開図を作成します。

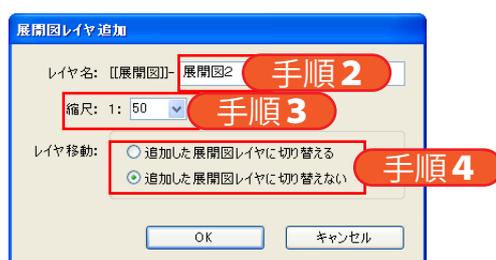


## レイヤ「展開図 2」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。展開図 1 レイヤと同じ作り方で、展開図 2 レイヤを追加してください。

### 操作手順：

1. 【◆平面図◆】 → 【展開図レイヤ追加 ...】 を実行  
次のダイアログが表示されます。



2. [レイヤ名] を「展開図 2」に変更
3. [縮尺] を「50」に変更
4. [レイヤ移動] を「追加した展開図レイヤに切り替えない」に変更
5. [OK] をクリック

これで、レイヤ「展開図 2」が追加されました。

## 展開グループ「メンズ」を作成

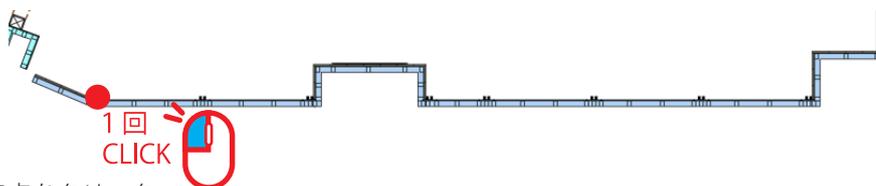
平面図に棚やハンガーなどを配置する位置を指定します。展開グループ「レディース1」、「レディース2」と同じ作り方で、展開グループ「メンズ」を作成してください。

### 操作手順：

1. [新規正面グループ] ツールを選択

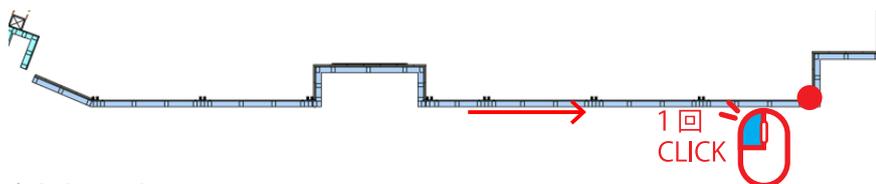
2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



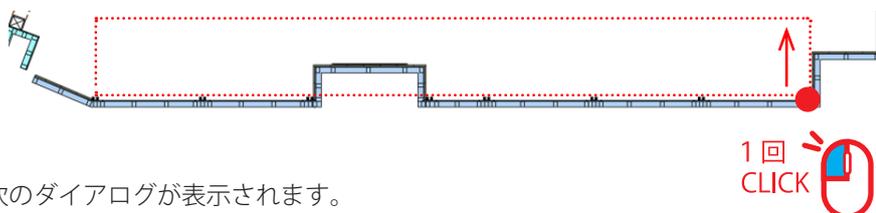
3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。



4. 向きをクリック

奥行きが出る向きをクリックしてください。



次のダイアログが表示されます。

**新規上面グループ**

展開グループ名(同じ展開グループ名は作成できません。)

メンズ **手順5**

作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH
レディース1	3340.00	3965	124.5	0
レディース2	3075	3965	73	0

展開寸法

間口(A)

高さ(B)

間口(A)  mm **手順6**

高さ(B)  mm **手順7**

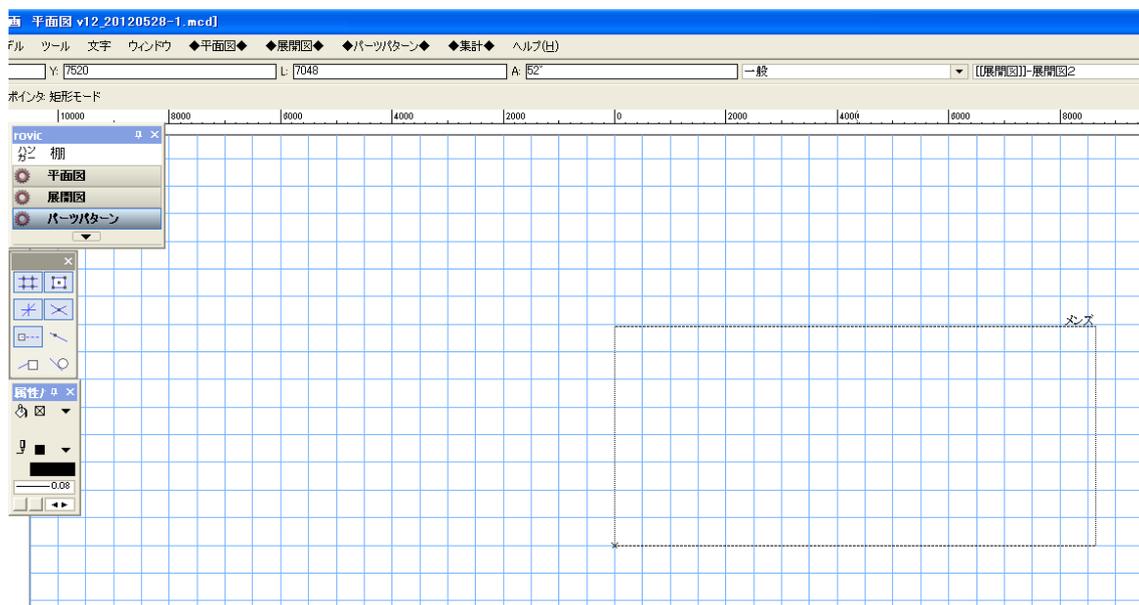
展開図レイヤ  縮尺 1: 50 **手順8**

展開詳細図(三面図)レイヤ  縮尺  1:10  1:20 **手順9**

OK      キャンセル

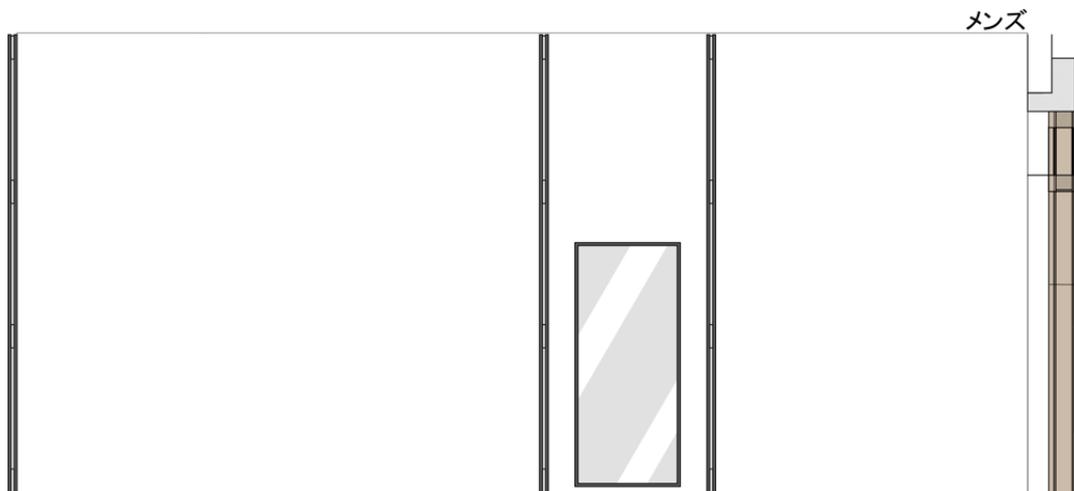
5. [展開グループ名] を「メンズ」に変更
6. [間口] を入力  
先ほど直線を引いた長さになります。問題なければそのままにしてください。
7. [高さ] を「3965」に変更
8. [展開図レイヤ] を先ほど追加した「[[ 展開図 ]]-展開図2」に変更
9. [縮尺] を「1:20」に変更
10. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「メンズ」が作成されました。



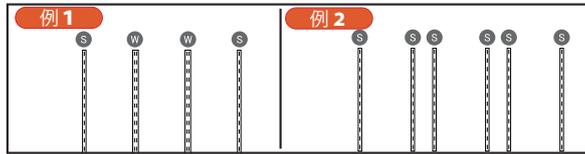
## 外観を作成

必要に応じて躯体などを作成します。rovic ではなく、Vectorworks ツールで描きます。



## サポート（シングル-ダブル）を配置

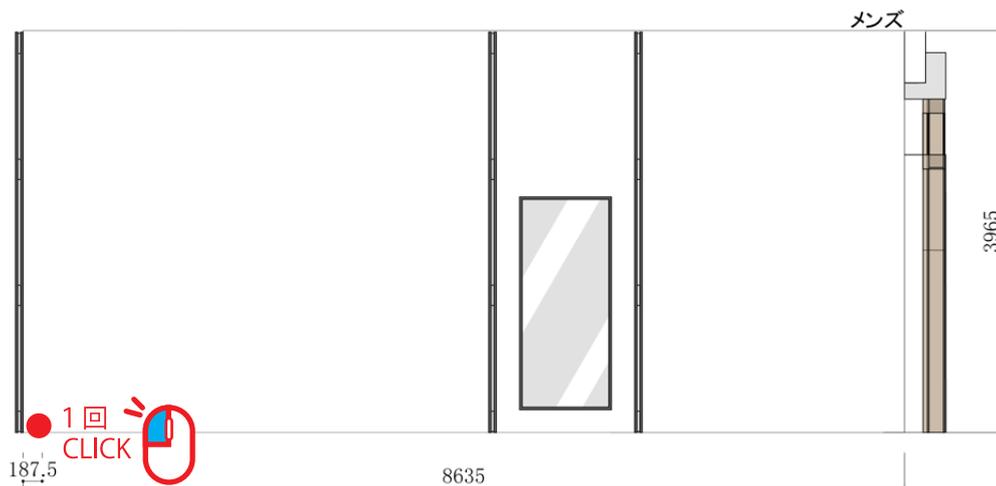
展開グループに、例1のサポートを配置します。



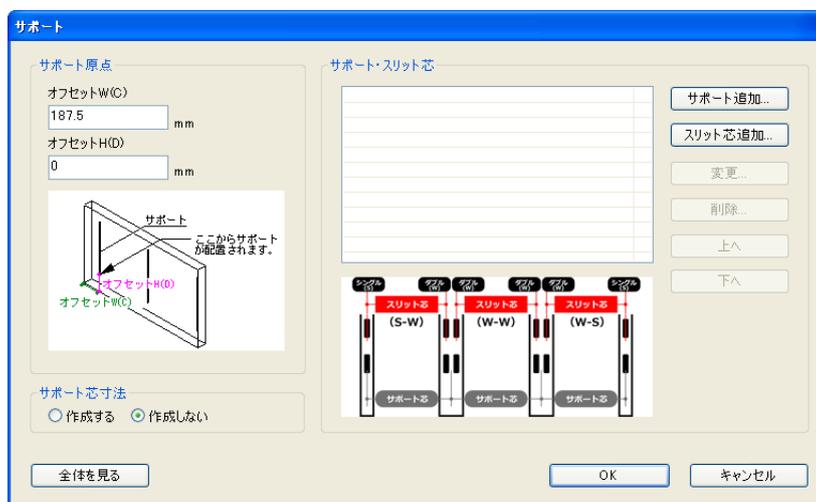
### 操作手順：

1. [サポート] ツールを選択
2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、左下の基準点から X=187.5、Y=0 の位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。



3. [サポート追加...] をクリック

一番左側のサポートを入力します。ここでは、種類「ASF-1」、高さ「3000」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

**4. [OK] をクリック**

図面にサポートが追加されます。

**5. [スリット芯追加 ...] をクリック**

先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離「1200」を入力します。

**6. [OK] をクリック**

図面にスリット芯が追加されます。

**7. 3から6を繰り返す**

続けて、

サポート「AWF-5、3000」、

スリット芯「1200」、

サポート「AWF-5、3000」、

スリット芯「1200」、

サポート「AWF-5、3000」、

スリット芯「600」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「1720」、

サポート「ASF-1、3000」、

スリット芯「1200」、

サポート「AWF-5、3000」、

スリット芯「1200」、

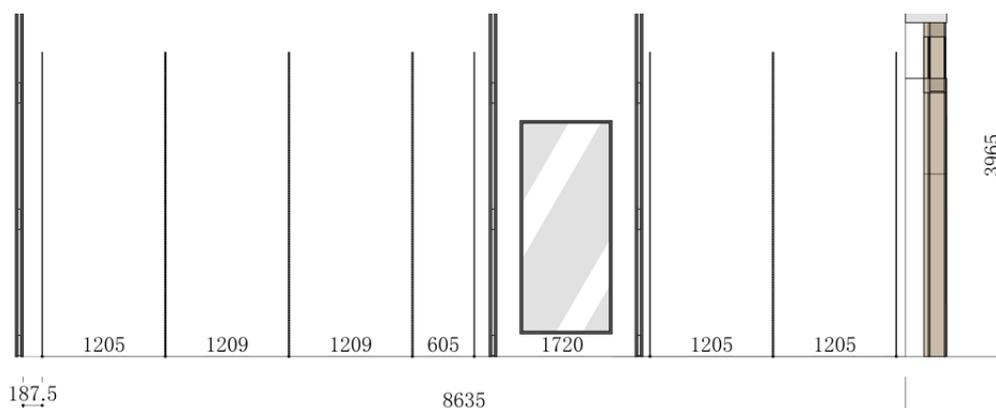
サポート「ASF-1、3000」

を追加します。

**8. [サポート芯寸法] を「作成する」に変更**

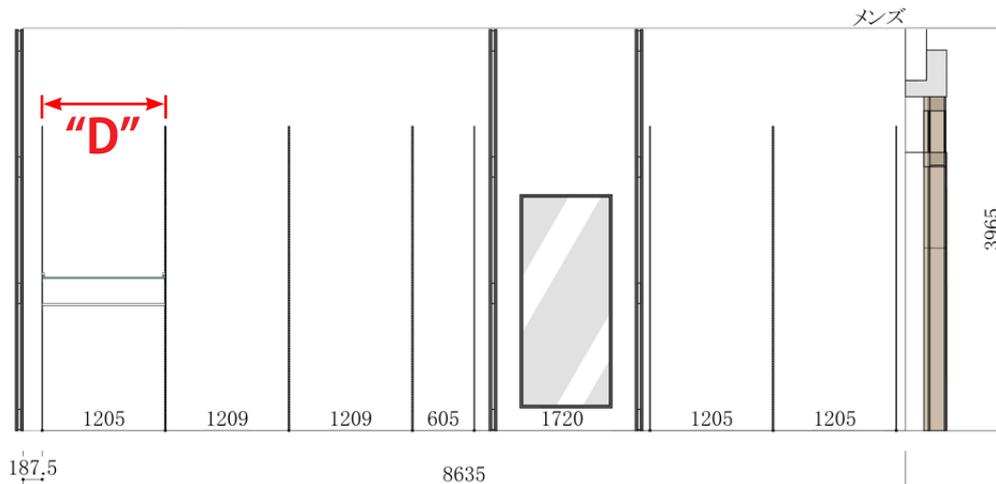
**9. [OK] をクリック**

これで、サポートが配置されました。



## パーツパターン「D」を作成

パーツパターン「D」を次のように作成します。

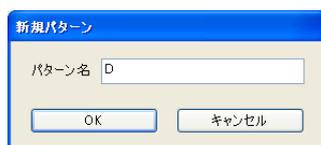


### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 左端のサポート間にマウスカursorを移動  
赤い矩形が表示されます。
3. クリック  
次のダイアログが表示されます。



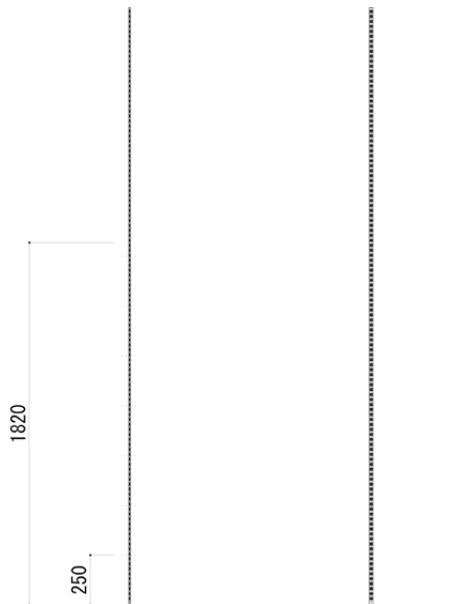
4. [新規パターン...] をクリック  
次のダイアログが表示されます。



5. [パターン名] を「D」に変更

## 6. [OK] をクリック

パーツパターンレイヤが表示されます。



これで、パーツパターン「D」ができました。ここにハンガーと棚を配置していきます。

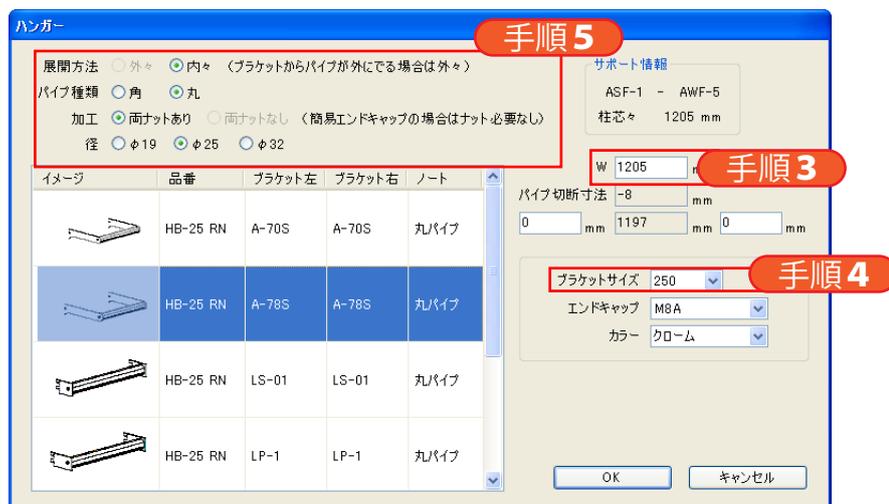
## ハンガー（内々）を配置

ハンガーを 1250mm の高さに配置します。

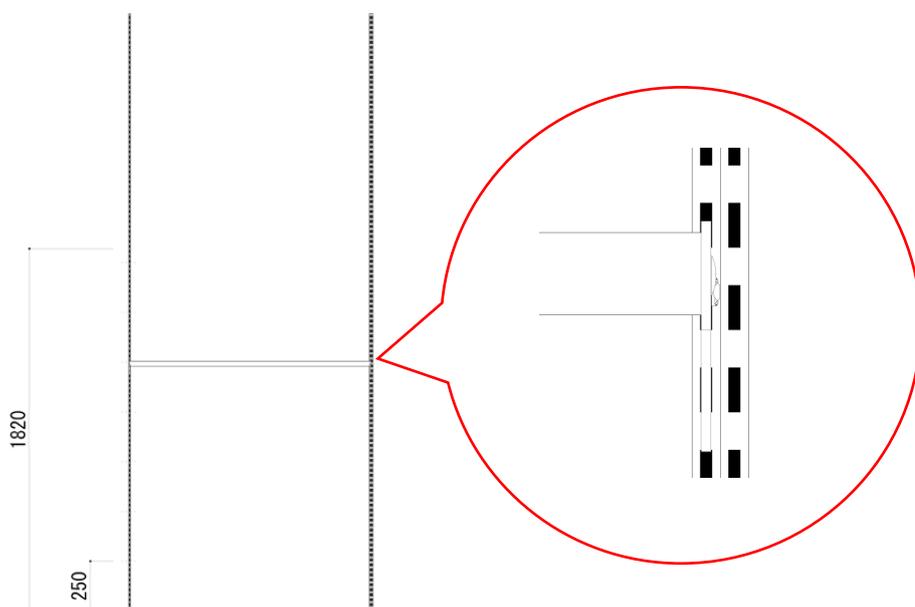
### 操作手順：

1. [ハンガー] ツールを選択
2. 1250mm の高さに直線を引く

次のダイアログが表示されます。



3. [W] を「1205」に変更
4. [ブラケットサイズ] を「250」に変更
5. 展開方法は「内々」、パイプ種類は「丸」、加工は「両ナットあり」、系は「φ25」にし、[ブラケット] を「HB-25 RN」、「A-78S」に変更
6. [OK] をクリック



これで、ハンガーが配置できました。

## 棚（内々）を配置

棚を 1500mm の高さに配置します。

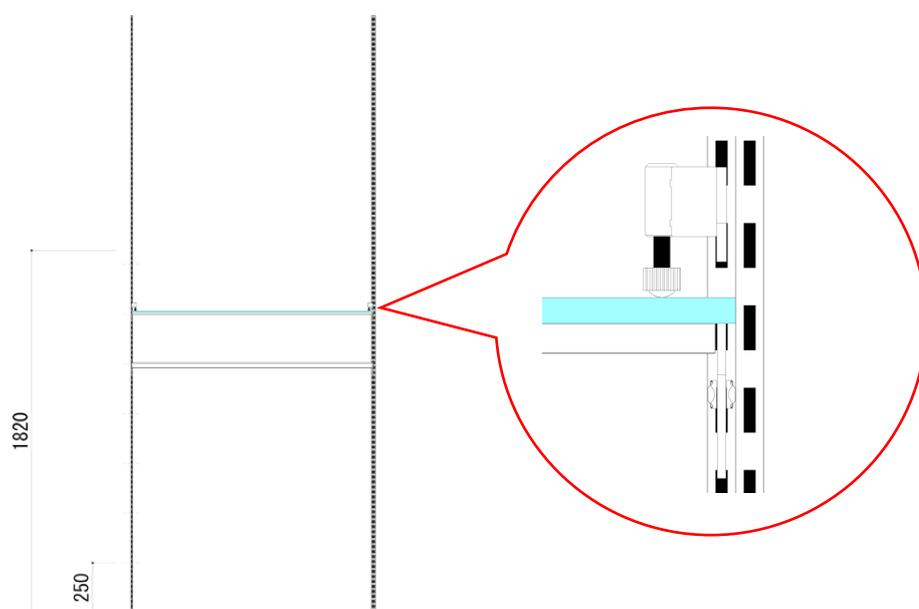
### 操作手順：

1. [棚] ツールを選択
2. 1500mm の高さに直線を引く



次のダイアログが表示されます。

3. [棚板の種類] を「ガラス棚」に変更
4. [W] を「1205」に変更
5. [奥行き] を「300」に変更
6. [棚名称] を「ガラス棚」に変更
7. [棚厚] を「8」に変更
8. [ブラケット] を「R-120GHS」、「R-120GHS」に変更
9. [JPバー] を「2本」に変更
10. ホルダー [先端] を「あり」に変更
11. ホルダー [中間] を「あり」に変更
12. [OK] をクリック



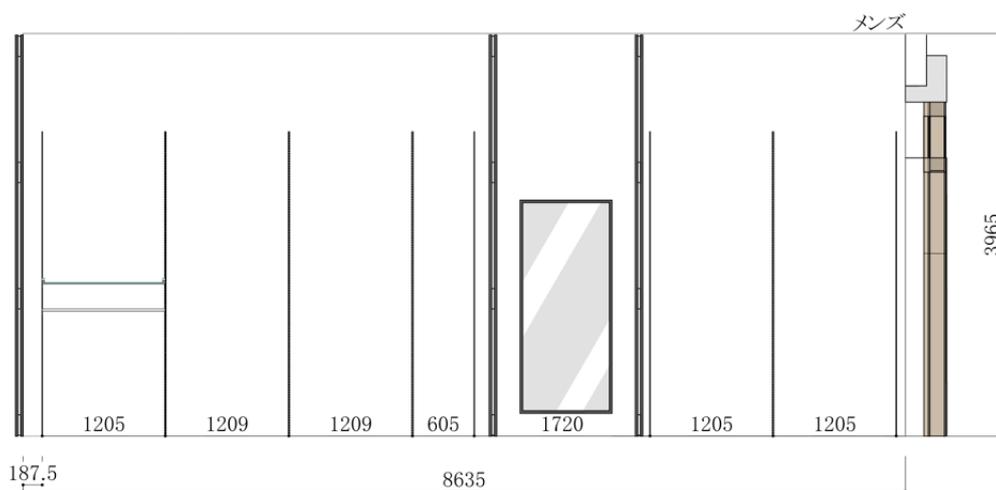
これで、棚が配置できました。

## パーツパターン「D」を確定

パーツパターンレイヤに配置した棚を展開図に適用します。

### 操作手順：

1. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行



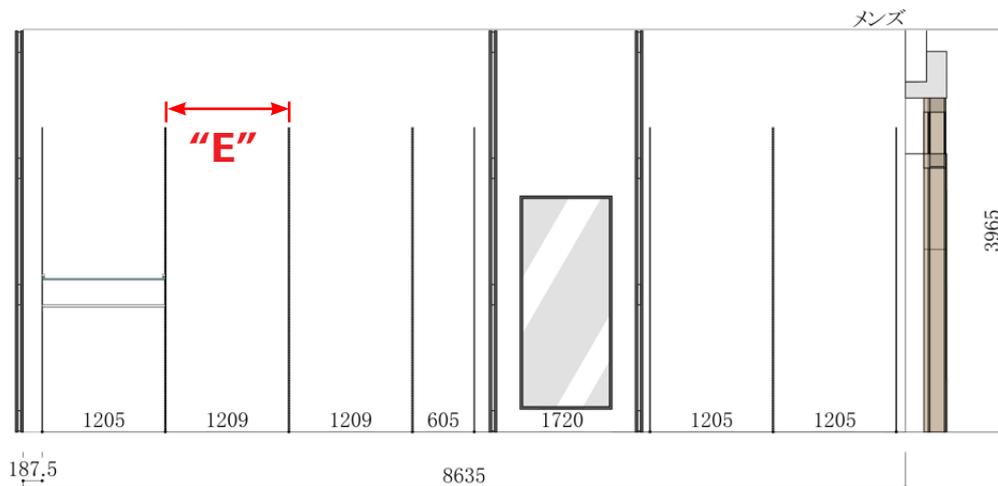
これで、展開図にパーツパターン「D」が適用されました。

## パーツパターン「E」を作成

左から2番目のサポート間にパーツパターン「E」を作成します。操作手順は、パーツパターン「D」を作成した手順と同じです。

### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択

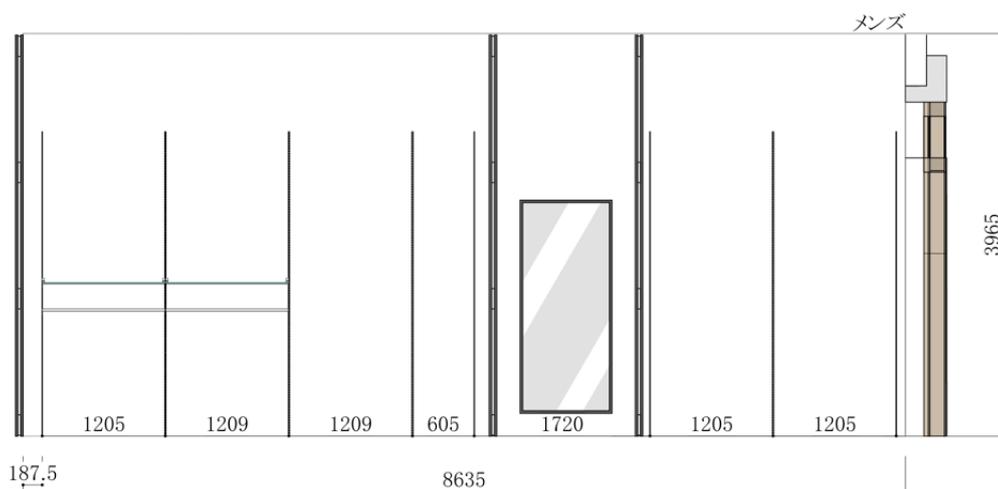


[パターン名]「E」のパーツパターンを左から2番目のサポート間に作成します。

2. ハンガー、棚を配置

[W] を「1209」に変更し、パーツパターン「D」と同じ位置に同じハンガー、棚を配置します。

3. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行



これで、パーツパターン「E」ができました。

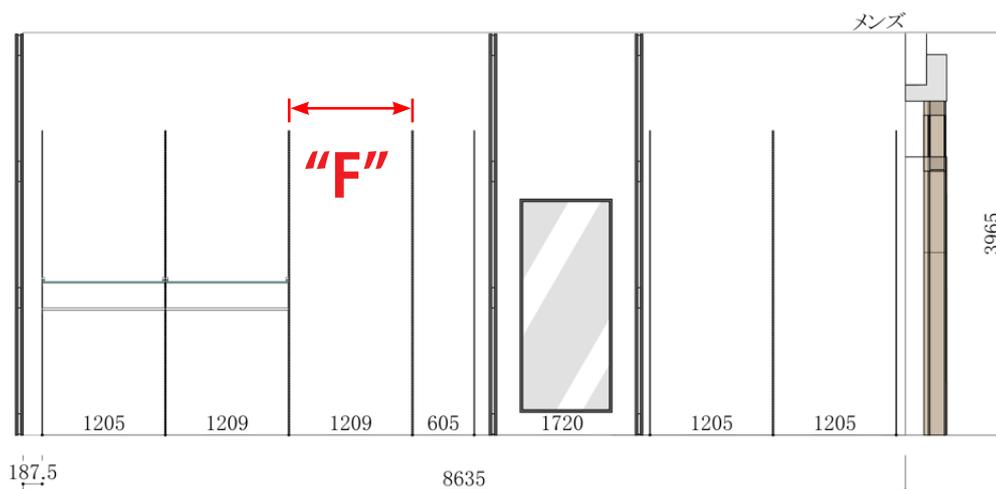
## パーツパターン「F」を作成

スリット芯が短いサポート間にパーツパターン「F」を作成します。操作手順は、パーツパターン「D」「E」を作成した手順と同じです。

### 操作手順：

#### 1. [パーツパターン] ツールを選択

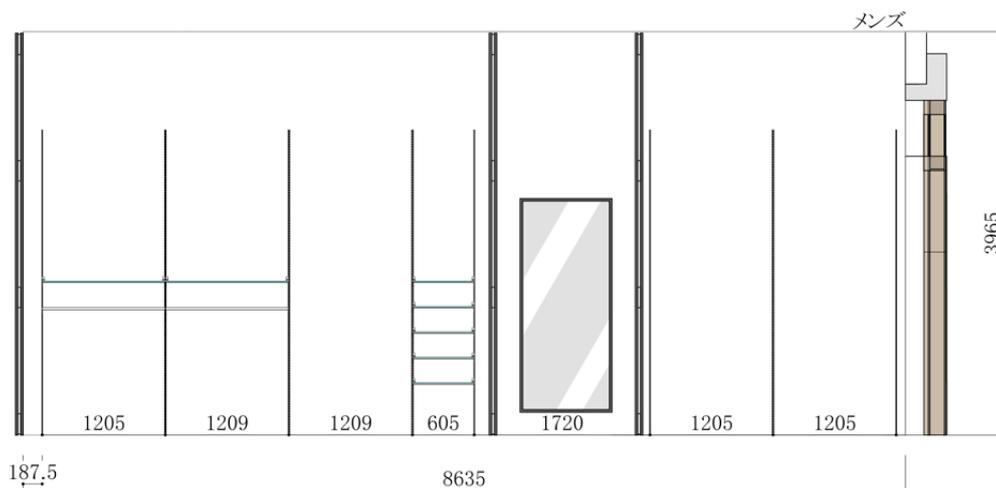
[パターン名]「F」のパーツパターンをスリット芯が短いサポート間に作成します。



#### 2. 棚を配置

500mm、750mm、1000mm、1250mm、1500mm の高さに [W] を「605」に変更したパーツパターン「D」「E」と同じ棚を配置します。

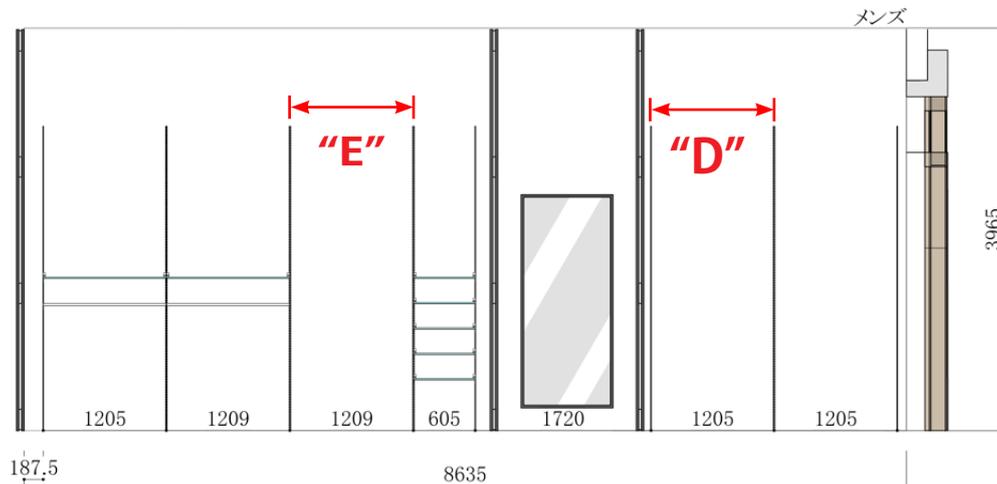
#### 3. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行



これで、パーツパターン「F」ができました。

## パーツパターン「D」「E」を適用

パーツパターン「D」「E」を次のように適用します。



### 操作手順：

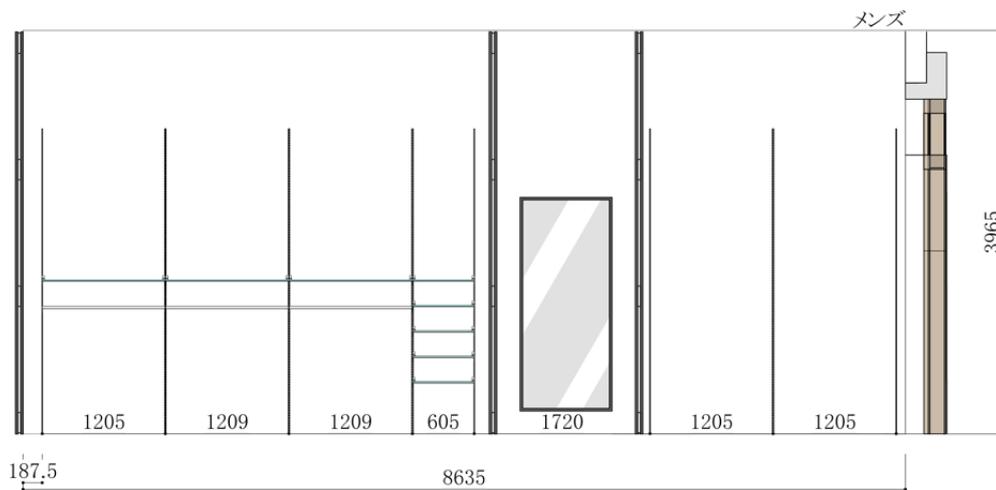
1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 左から3番目のサポート間をクリック

次のダイアログが表示されます。

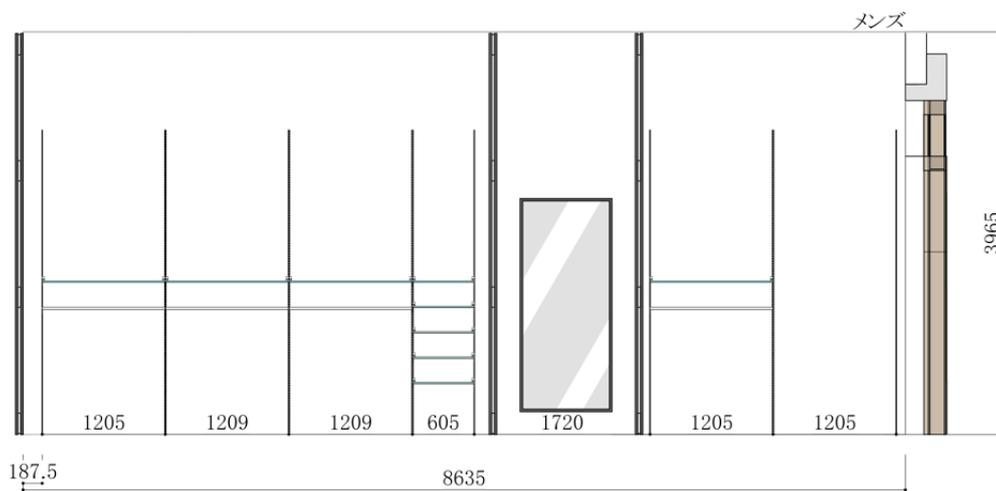


3. [パーツパターン] 「E」を選択
4. [パターンを適用] をクリック

これで、展開図にパーツパターン「E」が適用されました。



つづいて、パーツパターン「D」を右から2番目のサポート間に適用してください。



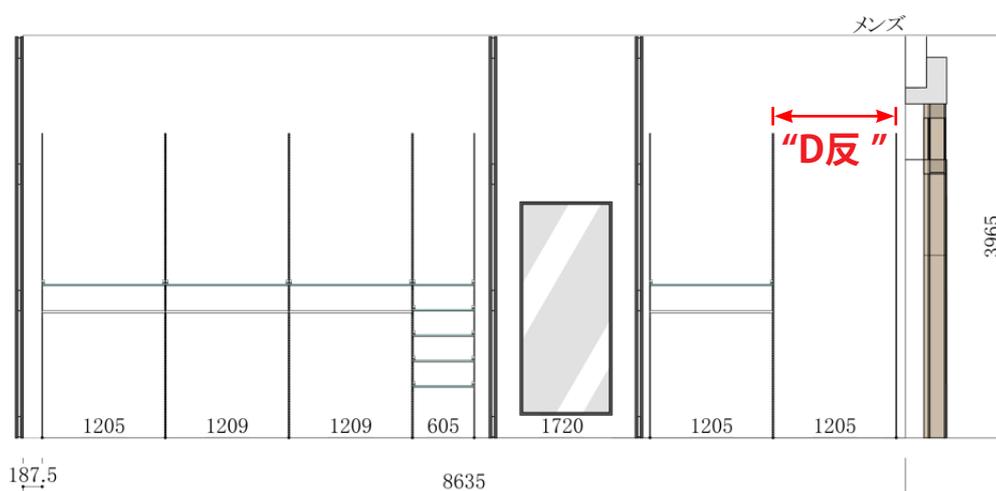
## パーツパターン「D」を反転

パーツパターン「D」を反転して右端のサポート間に適用します。パーツパターンの反転は、サポートの組み合わせがシングル-ダブルのパーツパターンをダブル-シングルの組み合わせに適用する場合に使用します。

(反転説明の図)

### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. 右端のサポート間をクリック

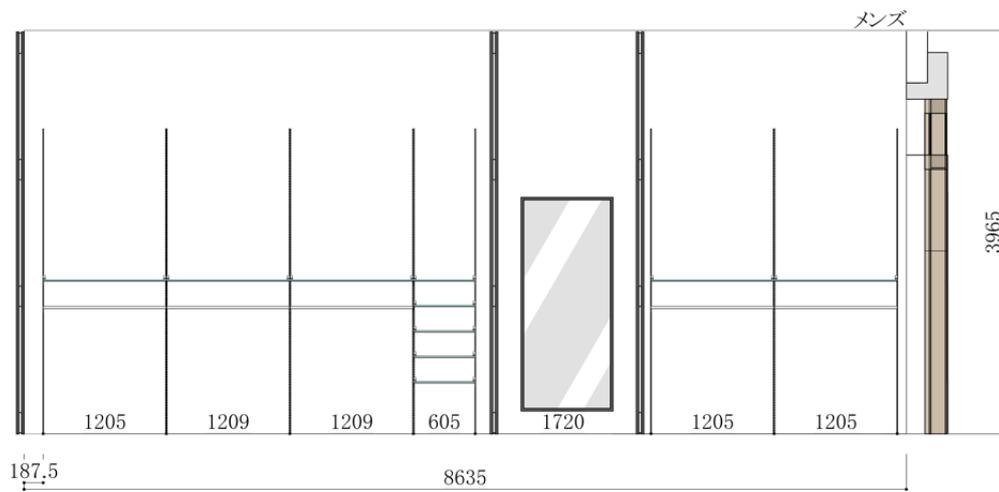


次のダイアログが表示されます。



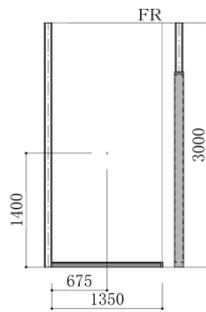
3. [パーツパターン]「D」を選択
4. [複製して反転] をクリック  
パーツパターンレイヤに切り替わります。
5. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行

これで、反転したパーツパターン「D」ができました。



## 展開図 3 を作成

展開グループの好きな位置にロコポイントを配置します。

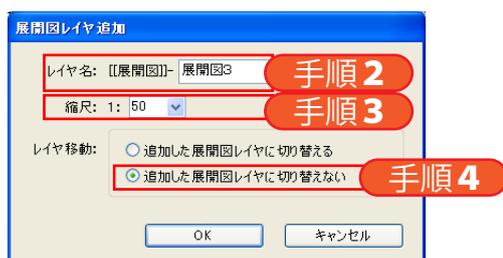


## レイヤ「展開図3」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。

### 操作手順：

1. 【◆平面図◆】 → 【展開図レイヤ追加...】 を実行  
次のダイアログが表示されます。



2. [レイヤ名] を「展開図3」に変更
3. [縮尺] を「50」に変更
4. [レイヤ移動] を「追加した展開図レイヤに切り替えない」に変更
5. [OK] をクリック

これで、レイヤ「展開図3」が追加されました。

## 展開グループ「FR」を作成

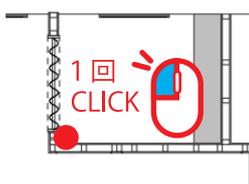
平面図にロコポイントを配置する位置を指定します。指定が完了すると、展開図レイヤに移動します。

### 操作手順：

1. [新規上面グループ] ツールを選択

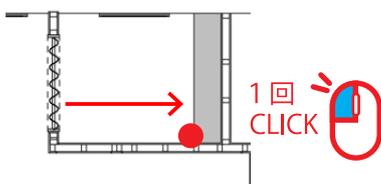
2. 始点をクリック

展開グループの始まる壁面をクリックしてください。



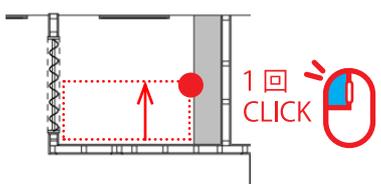
3. 終点をクリック

展開グループの終わる壁面をクリックしてください。

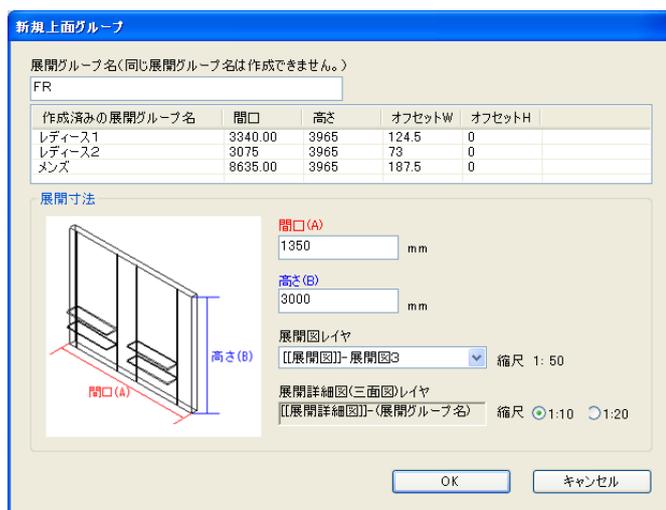


4. 向きをクリック

奥行きが出る向きをクリックしてください。

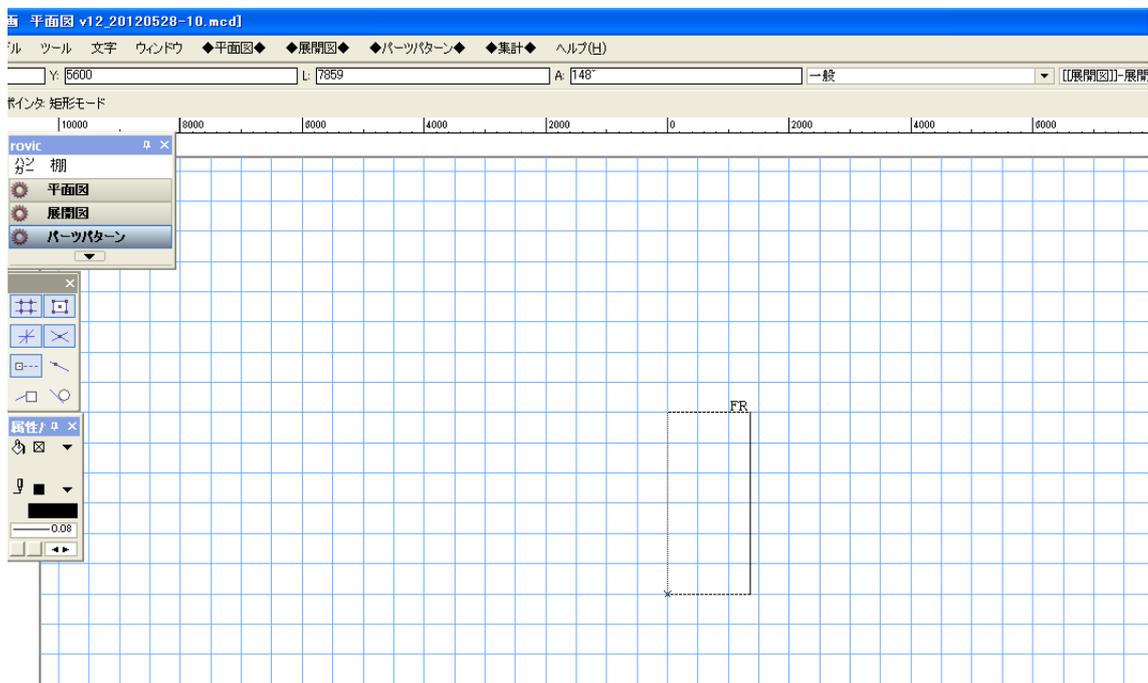


次のダイアログが表示されます。



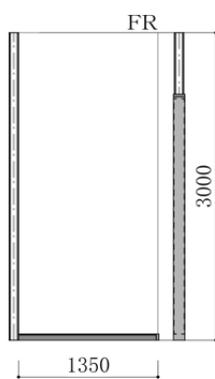
5. [展開グループ名] を「FR」に変更
6. [間口] を入力  
先ほど直線を引いた長さになります。問題なければ、そのままにしてください。
7. [高さ] を「3000」に変更
8. [展開図レイヤ] を先ほど追加した「[[ 展開図 ]]- 展開図 3」に変更
9. [縮尺] を「1:10」に変更
10. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「FR」が作成されました。



## 外観を作成

必要に応じて展開図に躯体などを作成します。rovic ではなく Vectorworks ツールで描きます。



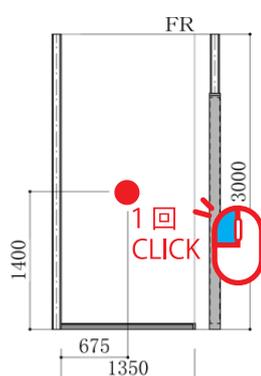
## ロコポイントを配置

展開グループにロコポイントを配置します。

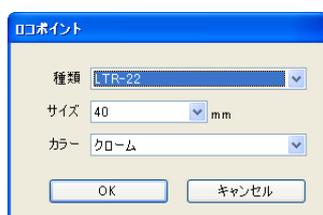
### 操作手順：

1. [ロコポイント] ツールを選択
2. 展開グループ上の配置する位置をクリック

クリックした位置にロコポイントが配置されます。ここでは、FR左下の基準点から X=675、Y=1400 の位置をクリックします。

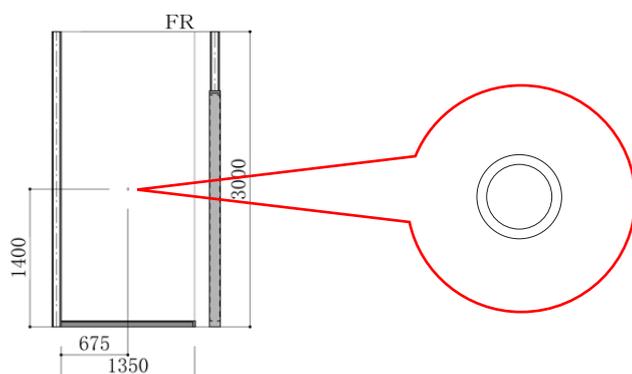


次のダイアログが表示されます。



3. [種類] を「LTR-22」に変更
4. [サイズ] を「40」に変更
5. [カラー] を「クローム」に変更
6. [OK] をクリック

これで、ロコポイントが配置されました。



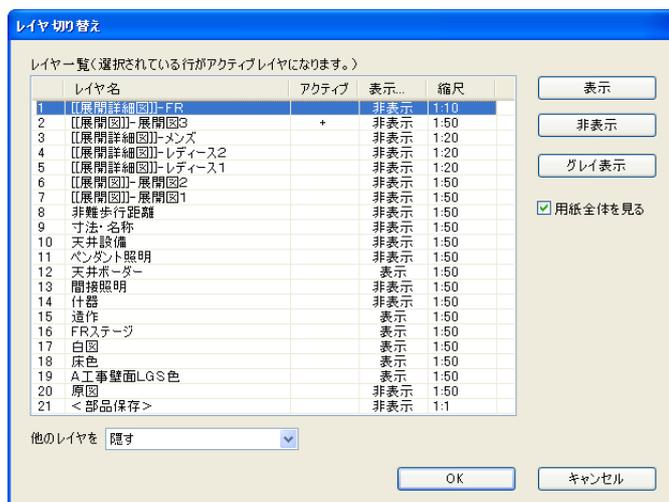
## 展開詳細図レイヤへ移動

ロコポイントを配置すると、バックグラウンドで自動的に展開詳細図（三面図）が作成されます。展開詳細図レイヤに移動して、展開詳細図を確認します。

### 操作手順：

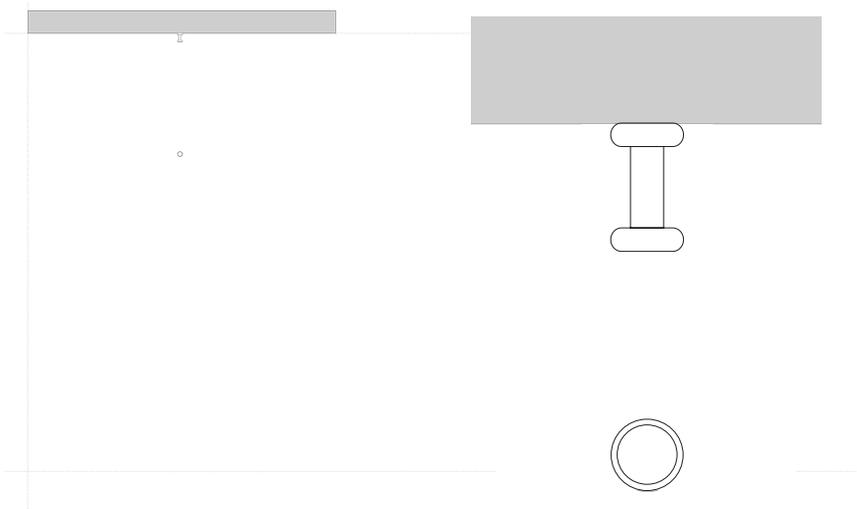
1. 【◆集計◆】 → 【レイヤ切り替え...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



2. [他のレイヤを] 「隠す」 に変更
3. [レイヤ名] 「[[ 展開詳細図 ]]- FR」 をダブルクリック

これで、展開詳細図に移動されました。展開詳細図が配置されているか確認してください。



### 注意：

ロコポイントは側面図には配置されません。

# 平面図から部品を集計する

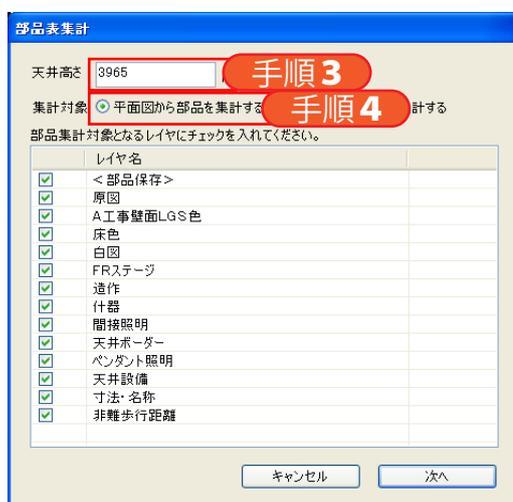
## 部品表を作成

配置された部品を集計します。

操作手順：

1. 【◆集計◆】 → 【部品表作成 ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



部品表集計

天井高さ: 3965 **手順 3**

集計対象:  平面図から部品を集計する **手順 4**  集計する

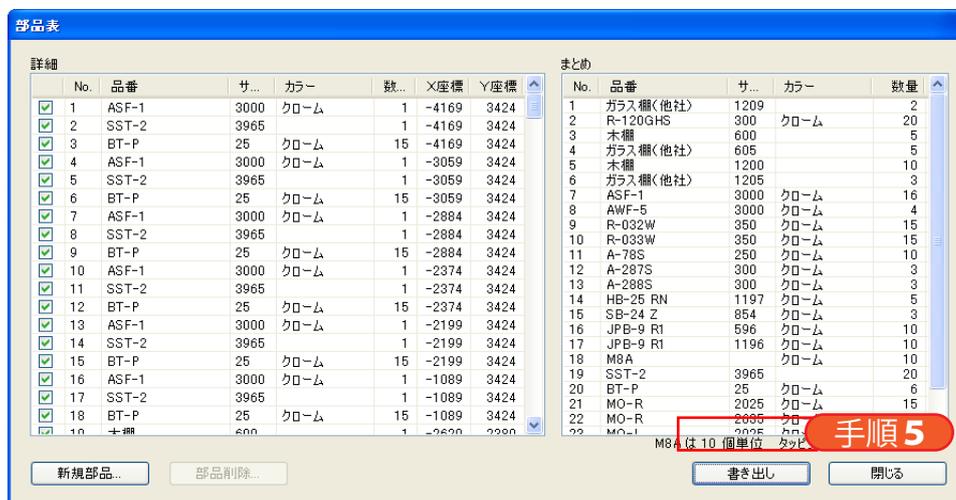
部品集計対象となるレイヤにチェックを入れてください。

レイヤ名	
<input checked="" type="checkbox"/> < 部品保存 >	
<input checked="" type="checkbox"/> 原図	
<input checked="" type="checkbox"/> A工事壁面LGS色	
<input checked="" type="checkbox"/> 床色	
<input checked="" type="checkbox"/> 白図	
<input checked="" type="checkbox"/> FRステージ	
<input checked="" type="checkbox"/> 造作	
<input checked="" type="checkbox"/> 什器	
<input checked="" type="checkbox"/> 間接照明	
<input checked="" type="checkbox"/> 天井ポーター	
<input checked="" type="checkbox"/> ペンダント照明	
<input checked="" type="checkbox"/> 天井設備	
<input checked="" type="checkbox"/> 寸法・名称	
<input checked="" type="checkbox"/> 非難歩行距離	

キャンセル 次へ

2. [天井高さ] を「3965」に変更
3. [集計対象] を「平面図から部品を集計する」に変更
4. [次へ] をクリック

次のダイアログが表示されます。



部品表

詳細							まとめ				
No.	品番	サ...	カラー	数...	X座標	Y座標	No.	品番	サ...	カラー	数量
<input checked="" type="checkbox"/>	1	ASF-1	3000	クローム	1	-4169 3424	1	ガラス欄(他社)	1209		2
<input checked="" type="checkbox"/>	2	SST-2	3965		1	-4169 3424	2	R-120GHS	300	クローム	20
<input checked="" type="checkbox"/>	3	BT-P	25	クローム	15	-4169 3424	3	木欄	600		5
<input checked="" type="checkbox"/>	4	ASF-1	3000	クローム	1	-3059 3424	4	ガラス欄(他社)	605		5
<input checked="" type="checkbox"/>	5	SST-2	3965		1	-3059 3424	5	木欄	1200		10
<input checked="" type="checkbox"/>	6	BT-P	25	クローム	15	-3059 3424	6	ガラス欄(他社)	1205		3
<input checked="" type="checkbox"/>	7	ASF-1	3000	クローム	1	-2884 3424	7	ASF-1	3000	クローム	16
<input checked="" type="checkbox"/>	8	SST-2	3965		1	-2884 3424	8	AWF-5	3000	クローム	4
<input checked="" type="checkbox"/>	9	BT-P	25	クローム	15	-2884 3424	9	R-032W	350	クローム	15
<input checked="" type="checkbox"/>	10	ASF-1	3000	クローム	1	-2374 3424	10	R-033W	350	クローム	15
<input checked="" type="checkbox"/>	11	SST-2	3965		1	-2374 3424	11	A-78S	250	クローム	10
<input checked="" type="checkbox"/>	12	BT-P	25	クローム	15	-2374 3424	12	A-287S	300	クローム	3
<input checked="" type="checkbox"/>	13	ASF-1	3000	クローム	1	-2199 3424	13	A-288S	300	クローム	3
<input checked="" type="checkbox"/>	14	SST-2	3965		1	-2199 3424	14	HB-25 RN	1197	クローム	5
<input checked="" type="checkbox"/>	15	BT-P	25	クローム	15	-2199 3424	15	SB-24 Z	854	クローム	3
<input checked="" type="checkbox"/>	16	ASF-1	3000	クローム	1	-1089 3424	16	JPB-9 R1	596	クローム	10
<input checked="" type="checkbox"/>	17	SST-2	3965		1	-1089 3424	17	JPB-9 R1	1196	クローム	10
<input checked="" type="checkbox"/>	18	BT-P	25	クローム	15	-1089 3424	18	M8A		クローム	10
<input checked="" type="checkbox"/>	19	ASF-1	3000	クローム	1	-1089 3424	19	SST-2	3965		20
<input checked="" type="checkbox"/>	20	SST-2	3965		1	-1089 3424	20	BT-P	25	クローム	6
<input checked="" type="checkbox"/>	21	BT-P	25	クローム	15	-1089 3424	21	MO-R	2025	クローム	15
<input checked="" type="checkbox"/>	22	ASF-1	3000	クローム	1	-1089 3424	22	MO-R	2025	クローム	15
<input checked="" type="checkbox"/>	23	BT-P	25	クローム	15	-1089 3424	23	MO-R	2025	クローム	15

M8A は 10 個単位 タップ

新規部品... 部品削除... 書き出し 閉じる **手順 5**

**5. [書き出し] をクリック**

集計された部品がテキストファイルに書き出されます。ファイル名を指定して [保存] をクリックしてください。

**6. [閉じる] をクリック**

これで、部品表が作成できました。

# パーツリストを生成

部品表からパーツリストを生成します。

## 操作手順：

1. 【◆集計◆】 → 【パーツリスト生成...】 を実行

これで、パーツリストが生成されました。

パーツリスト (1/1) 作成日時 2012/06/05 13:21

ガラス種(他社)			R-120GHS			本棚			ガラス種(他社)			本棚			ガラス種(他社)								
サイズ	1209	カラー	サイズ	300	カラー	クローム	サイズ	600	カラー	サイズ	605	カラー	サイズ	1200	カラー	サイズ	1205	カラー					
数量 2			数量 20			数量 5			数量 5			数量 10			数量 3								
サイズ	3000	カラー	クローム	サイズ	3000	カラー	クローム	サイズ	350	カラー	クローム	サイズ	350	カラー	クローム	サイズ	250	カラー	クローム	サイズ	300	カラー	クローム
数量 16			数量 4			数量 15			数量 15			数量 10			数量 3								
サイズ	300	カラー	クローム	サイズ	1197	カラー	クローム	サイズ	854	カラー	クローム	サイズ	596	カラー	クローム	サイズ	1196	カラー	クローム	サイズ		カラー	クローム
数量 3			数量 5			数量 3			数量 10			数量 10			数量 10								
サイズ	3965	カラー		サイズ	25	カラー	クローム	サイズ	2025	カラー	クローム	サイズ	2635	カラー	クローム	サイズ	2025	カラー	クローム	サイズ	2635	カラー	クローム
数量 20			数量 6			数量 15			数量 10			数量 15			数量 10								

## 注意：

【部品表作成】メニューを実行していないと、パーツリストが生成できません。

# 展開図のみ作成する

平面図を作らずに展開図を作成する手順は次のとおりです。

## レイヤ「展開図4」を追加

展開図を作成するレイヤを追加します。

### 操作手順：

1. 【◆平面図◆】 → 【展開図レイヤ追加 ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



2. [レイヤ名] を「展開図4」に変更
3. [縮尺] を「50」に変更
4. [レイヤ移動] を「追加した展開図レイヤに切り替える」に変更
5. [OK] をクリック

これで、レイヤ「展開図4」が追加され、レイヤ「展開図4」に切り替わりました。

## 展開グループ「壁面外々展開」を作成

サポート、ハンガー、棚などを配置する展開グループを作成します。

### 操作手順：

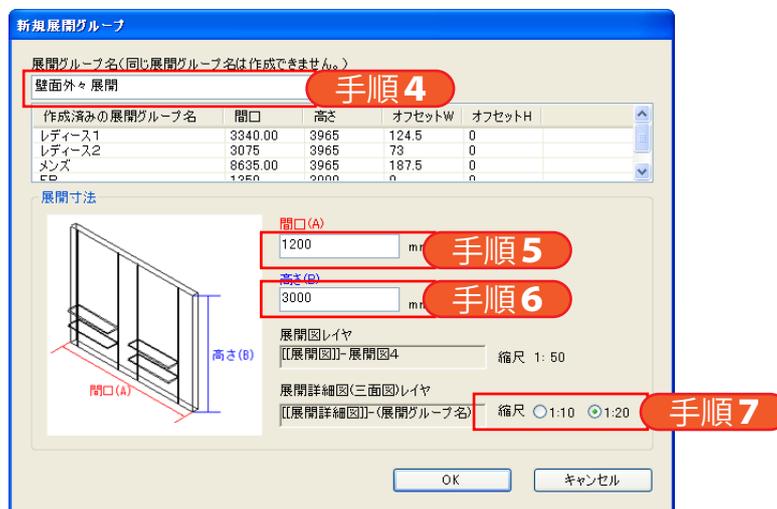
1. [新規展開グループ] ツールを選択

2. 始点をクリック

展開グループを矩形で指定してください。

3. 終点をクリック

次のダイアログが表示されます。



4. [展開グループ名] を「壁面外々展開」に変更

5. [間口] を「1200」に変更

先ほど指定した矩形の幅になります。

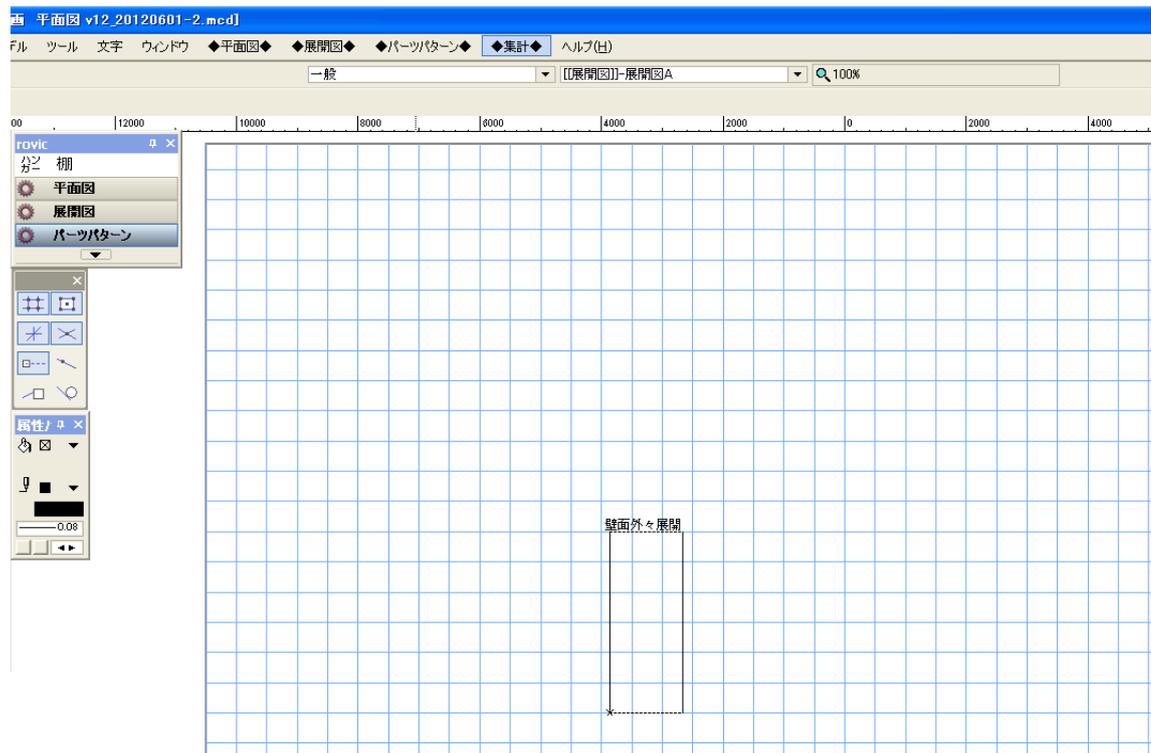
6. [高さ] を「3000」に変更

先ほど指定した矩形の高さになります。

7. [縮尺] を「1:20」に変更

8. [OK] をクリック

これで、展開図レイヤに展開グループ「壁面外々展開」が作成されました。



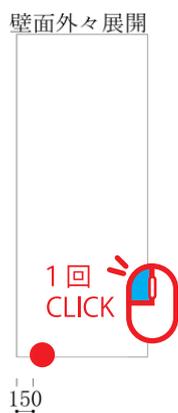
## サポートを配置

展開グループにサポートを配置します。

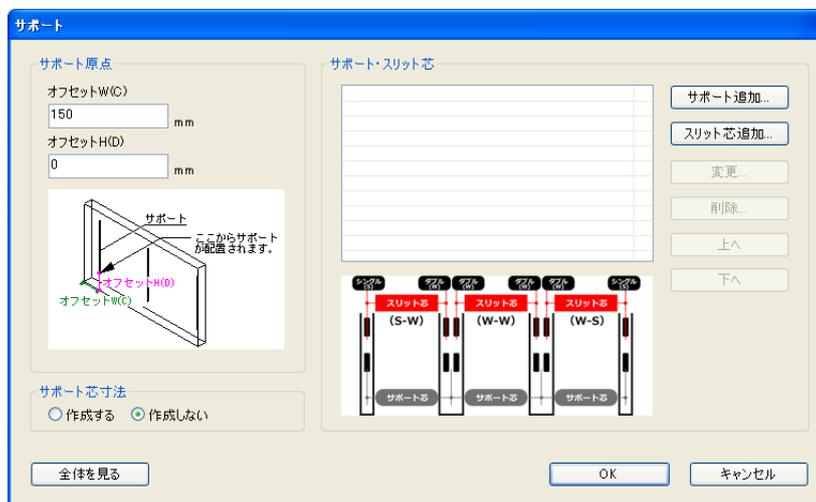
### 操作手順：

1. [サポート] ツールを選択
2. 展開グループ上のサポート原点をクリック

クリックした位置からサポートが配置されます。ここでは、壁面外々展開左下の基準点から X=150、Y=0 の位置をクリックします。



次のダイアログが表示されます。



3. [サポート追加...] をクリック

次のダイアログが表示されます。



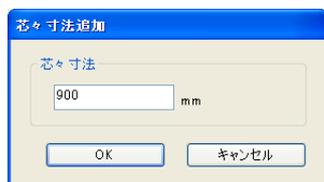
一番左側のサポートを入力します。ここでは、種類「ASF-1」、高さ「1820」、カラー「クローム」、下地「SST-2」、ビス「BT-P」、ビスサイズ「25」を入力します。

**4.** [OK] をクリック

図面にサポートが追加されます。

**5.** [スリット芯追加 ...] をクリック

次のダイアログが表示されます。



先ほど追加したサポートから次のサポートまでの距離を入力します。ここでは、「900」を入力します。

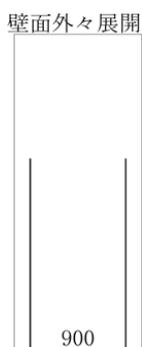
**6.** [OK] をクリック

図面にスリット芯が追加されます。

**7.** [スリット芯寸法] を「作成する」に変更

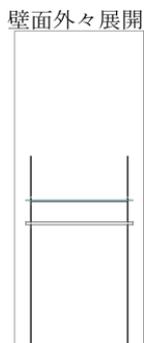
**8.** [OK] をクリック

これで、サポートが配置されました。



## パーツパターン「G」を作成

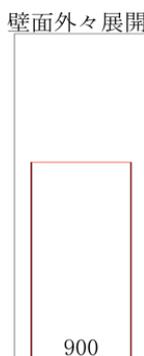
パーツパターンを次のように作成します。



### 操作手順：

1. [パーツパターン] ツールを選択
2. サポート間にマウスカーソルを移動

赤い矩形が表示されます。

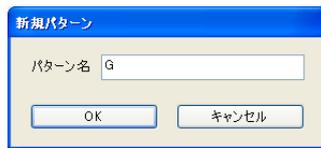


3. クリック

次のダイアログが表示されます。

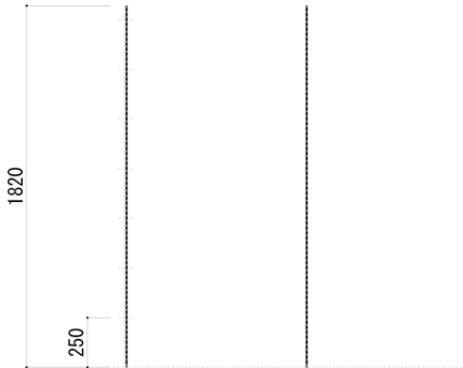


4. [新規パターン ...] をクリック



次のダイアログが表示されます。

5. [パターン名] を「G」に変更
6. [OK] をクリック



パーツパターンレイヤが表示されます。

これでパーツパターン「G」ができました。

## ハンガー（外々）を配置

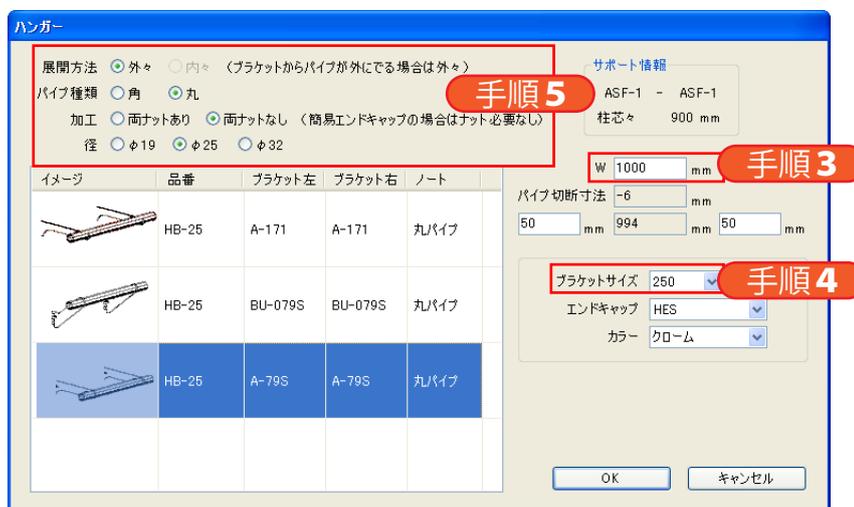
ハンガーを次の高さに配置します。

1200mm

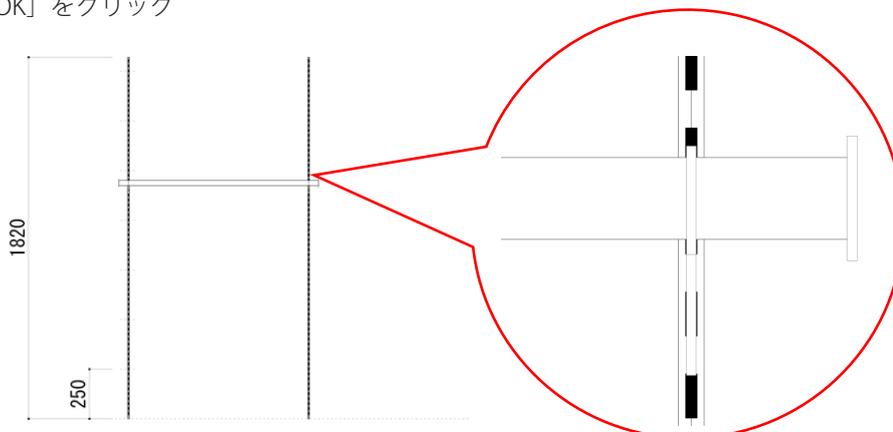
操作手順：

1. [ハンガー] ツールを選択
2. 1200mm の高さに直線を引く

次のダイアログが表示されます。



3. [W] を「1000」に変更
4. [ブラケットサイズ] を「250」に変更
5. 展開方法は「外々」、パイプ種類は「丸」、加工は「両ナットなし」、系は「Φ25」にし、[ブラケット] を「HB-25」、「A-79S」に変更
6. [OK] をクリック



これで、ハンガーが配置できました。

## 棚（外々）を配置

棚を 1400mm の高さに配置します。

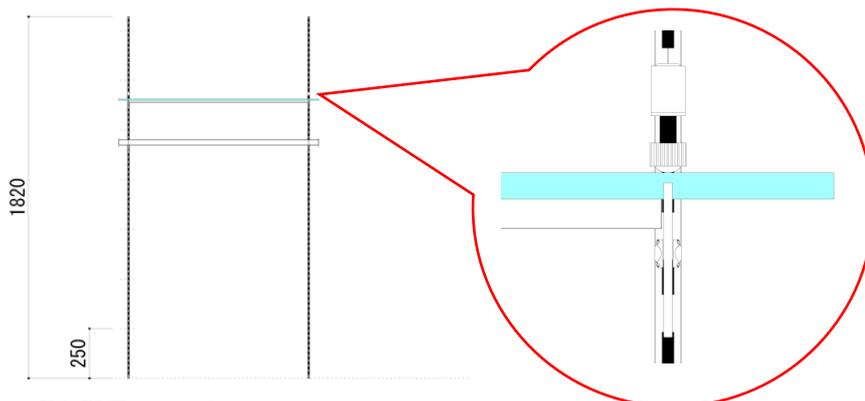
### 操作手順：

1. [棚] ツールを選択
2. 1400mm の高さに直線を引く



次のダイアログが表示されます。

3. [棚板の種類別] を「ガラス棚」に変更
4. [W] を「1000」に変更
5. [奥行き] を「300」に変更
6. [棚名称] を「ガラス棚」に変更
7. [棚厚] を「8」に変更
8. [ブラケット] を「R-110GS」「R-110GS」に変更
9. [JP バー] を「2本」に変更
10. [OK] をクリック



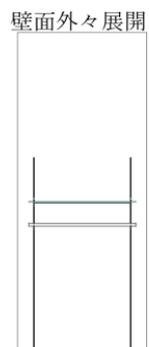
これで、棚が配置できました。

## パーツパターン「G」を確定

パーツパターンレイヤに配置した棚を展開図に適用します。

### 操作手順：

1. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定】 を実行



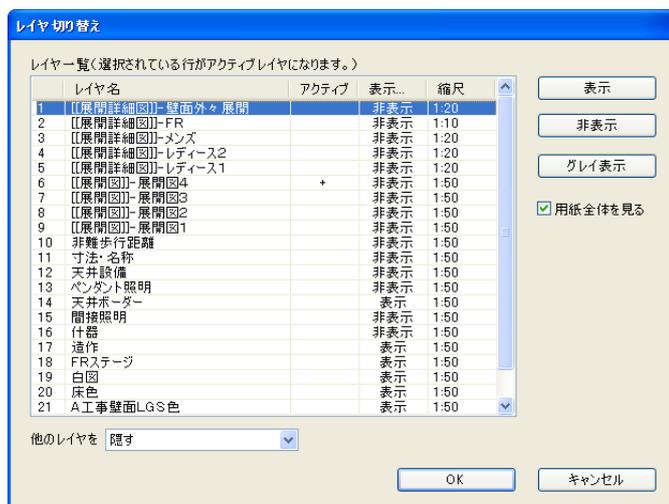
これで、展開図にパーツパターン「G」が適用されました。

## 展開詳細図レイヤへ移動

パーツパターンを適用（またはパーツパターン確定）すると、バックグラウンドで自動的に展開詳細図（三面図）が作成されます。展開詳細図レイヤに移動して、展開詳細図を確認します。

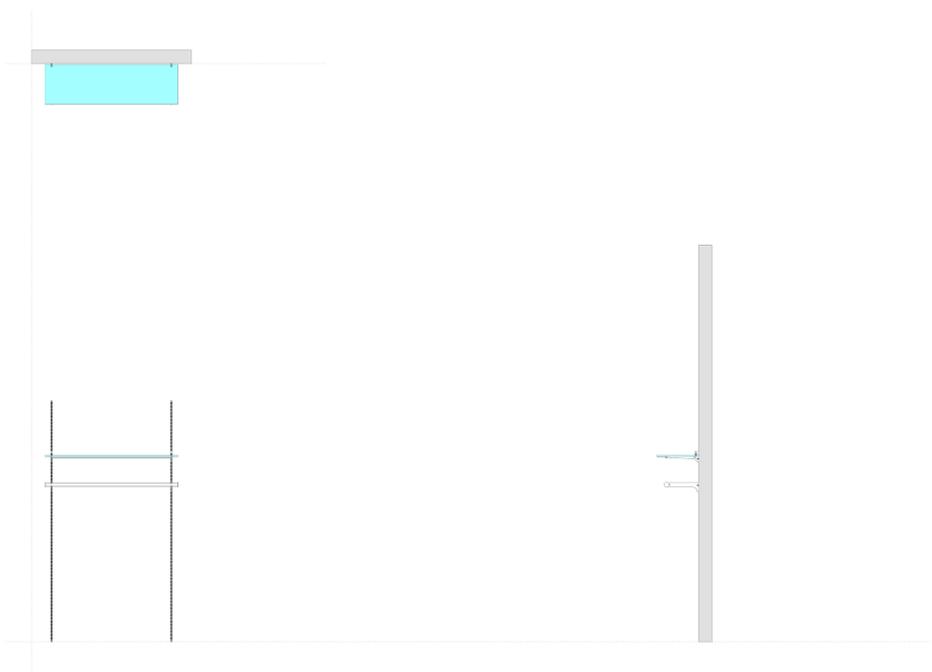
操作手順：

1. 【◆集計◆】 → 【レイヤ切り替え...】 を実行



次のダイアログが表示されます。

2. [他のレイヤを] 「隠す」 に変更
3. [レイヤ名] 「[[ 展開詳細図 ]]- 壁面外々展開」 をダブルクリック



これで、展開詳細図に移動されました。展開詳細図が配置されているか確認してください。



部品表

詳細							まとめ					
No.	品番	サ...	カラー	数...	X座標	Y座標	No.	品番	サ...	カラー	数量	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	ASF-1	1820	クローム	1	-4770	-2730	1	ガラス棚	1000		1
<input checked="" type="checkbox"/>	2	SST-2	3965		1	-4770	-2730	2	R-110GS	300	クローム	2
<input checked="" type="checkbox"/>	3	BT-P	25	クローム	11	-4770	-2730	3	ASF-1	1820	クローム	2
<input checked="" type="checkbox"/>	4	ASF-1	1820	クローム	1	-3870	-2730	4	A-79S	250	クローム	2
<input checked="" type="checkbox"/>	5	SST-2	3965		1	-3870	-2730	5	HB-25	994	クローム	1
<input checked="" type="checkbox"/>	6	BT-P	25	クローム	11	-3870	-2730	6	JPB-9 R1	896	クローム	2
<input checked="" type="checkbox"/>	7	HB-25	994	クローム	1	-4320	-2470	7	HES	25	クローム	2
<input checked="" type="checkbox"/>	8	A-79S	250	クローム	1	-4320	-2470	8	SST-2	3965		2
<input checked="" type="checkbox"/>	9	A-79S	250	クローム	1	-4320	-2470	9	BT-P	25	クローム	1
<input checked="" type="checkbox"/>	10	HES	25	クローム	2	-4320	-2470	10	NGO		クローム	2
<input checked="" type="checkbox"/>	11	ガラス棚	1000		1	-4320	-2241					
<input checked="" type="checkbox"/>	12	R-110GS	300	クローム	1	-4320	-2241					
<input checked="" type="checkbox"/>	13	R-110GS	300	クローム	1	-4320	-2241					
<input checked="" type="checkbox"/>	14	JPB-9 R1	896	クローム	2	-4320	-2241					
<input checked="" type="checkbox"/>	15	NGO		クローム	1	-4320	-2241					
<input checked="" type="checkbox"/>	16	NGO		クローム	1	-4320	-2241					

M8A は 10 個単位 タッピングビスは 50 本 1 パック

新規部品... 部品削除... 書き出し 閉じる

次のダイアログが表示されます。

## 6. [書き出し] をクリック

集計された部品がテキストファイルに書き出されます。ファイル名を指定して [保存] をクリックしてください。

## 7. [閉じる] をクリック

これで、部品表が作成できました。

## パーツリストを生成

部品表からパーツリストを生成します。

### 操作手順：

1. 【◆集計◆】 → 【パーツリスト生成...】 を実行

これで、パーツリストが生成されました。

パーツリスト (1/1) 作成日時 2012/06/07 10:30

ガラス類			R-110GS			ASF-1			A-79S			HB-25			JPB-9 R1							
サイズ	1000	カラー	サイズ	300	カラー	クローム	サイズ	1820	カラー	クローム	サイズ	250	カラー	クローム	サイズ	994	カラー	クローム	サイズ	896	カラー	クローム
						⋮																
数量   1			数量   2			数量   2			数量   2			数量   1			数量   2							
HES			SST-2			BT-P			NGO													
サイズ	25	カラー	クローム	サイズ	3965	カラー	サイズ	25	カラー	クローム	サイズ	カラー	クローム									
						+ 																
数量   2			数量   2			数量   1			数量   2													

### 注意：

【部品表作成】メニューを実行していないと、パーツリストが生成できません。

# 作成した部品を変更する

次のコマンドが用意されています。

- ・ サポート一括変更
- ・ パーツパターン変更
- ・ ハンガー変更
- ・ 棚変更

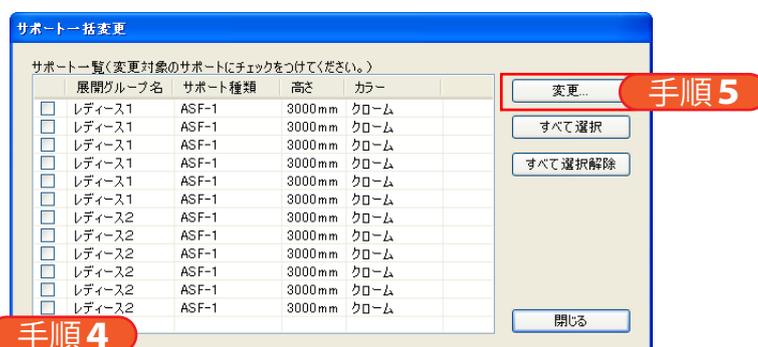
## サポートを一括変更

展開グループに配置されているサポートを一括で変更します。

### 操作手順：

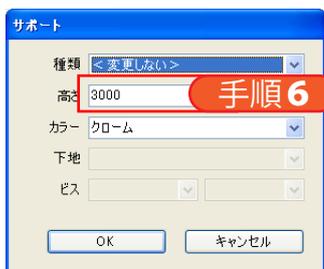
1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. サポートを変更する展開グループをひとつまたは複数選択
3. 【◆展開図◆】 → 【サポート一括変更 ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



4. 変更する [サポート] にチェック
5. [変更] をクリック

次のダイアログが表示されます。



6. 値を変更
7. [OK] をクリック
8. [閉じる] をクリック

これで、サポートの一括変更ができました。

### 注意：

パーツパターンが適用されている場合は、サポートを変更することができません。

## パーツパターンを変更

パーツパターンの内容を変更します。

### 操作手順：

1. 展開図レイヤへ移動
2. [パーツパターン] ツールを選択
3. 変更するパーツパターン（サポート間）をクリック

次のダイアログが表示されます。



4. [パターン編集 ...] をクリック

パーツパターンレイヤへ移動されます。

5. 編集

ハンガー 【◆パーツパターン◆】 → 【ハンガー変更 ...】 で変更できます。

棚 【◆パーツパターン◆】 → 【棚変更 ...】 で変更できます。

6. 【◆パーツパターン◆】 → 【パーツパターン確定 ...】 を実行

これで、適用されているすべてのパーツパターンが変更できました。

## ハンガーを変更

パーツパターンに配置されているハンガーを変更します。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポイント] ツールを選択
2. ハンガーを選択
3. 【◆パーツパターン◆】 → 【ハンガー変更 ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。

ハンガー変更ダイアログボックスのスクリーンショット。ダイアログには、展開方法、パイプ種類、加工、径、サポート情報、パイプ切断寸法、パイプサイズ、エンドキャップ、カラーなどの設定項目があります。また、ハンガーの選択リストも表示されています。

サポート情報

ASF-1 - ASF-1  
柱芯々 860 mm

W 860 mm

パイプ切断寸法 -6 mm  
0 mm 854 mm 0 mm

パイプサイズ 300  
エンドキャップ  
カラー クローム

OK キャンセル

イメージ	品番	ブラケット左	ブラケット右	ノート
	SB-24 Z	A-288S	A-287S	角パイプ
	SB-24 Z	A-283	A-282	角パイプ

4. 変更後のハンガーの値を入力
5. [OK] をクリック

これで、ハンガーの変更ができました。

## 棚を変更

パーツパターンに配置されている棚を変更します。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. 棚を選択
3. 【◆パーツパターン◆】 → 【棚変更 ...】 を実行  
次のダイアログが表示されます。

イメージ	品番	ブラケット左	ブラケット右	ノート
	木棚	R-033W	R-032W	木棚
	木棚	B-033	B-032	木棚
	木棚	A-33	A-32	木棚
	木棚	R-133W	R-132W	木棚
	木棚	A-15S	A-15S	木棚

展開方法  
 外々  
 内々 フラット  
 内々 落とし込み

サポート情報  
 ASF-1 - ASF-1  
 柱芯々 1110 mm

棚板の種別  
 ガラス棚  木棚

W 1200 mm **手順4**

棚切断寸法 0 mm  
 45 mm 1200 mm 45 mm

JPバー  
 0 本 mm

ホルダー 先端 なし 中間 なし

奥行き 350  
 カラー クローム  
 棚名称 木棚  
 棚厚 20 mm

OK キャンセル

4. 変更後の棚の値を入力
  5. [OK] をクリック
- これで、棚の変更ができました。

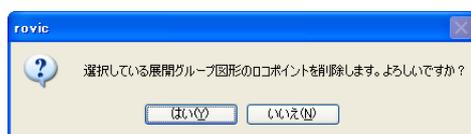
## ロコポイントを削除

展開グループに配置されているロコポイントをすべて削除します。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. 削除するロコポイントがある展開グループを選択
3. 【◆展開図◆】 → 【ロコポイント削除 ...】 を実行

次のメッセージが表示されます。



4. [はい] をクリック

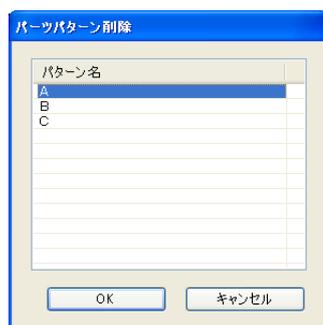
これで、展開グループ内のすべてのロコポイントの削除ができました。

## パーツパターンを削除

展開グループで指定されているパーツパターンを削除します。

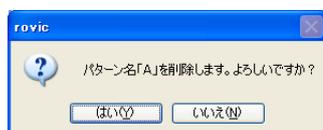
### 操作手順：

1. 【◆展開図◆】 → 【パーツパターン削除 ...】 を実行  
次のダイアログが表示されます。



2. 削除する [パーツパターン] を選択
3. [OK] をクリック

次のメッセージが表示されます。



3. [はい] をクリック

これで、パーツパターンを削除できました。

# 展開グループを活用する

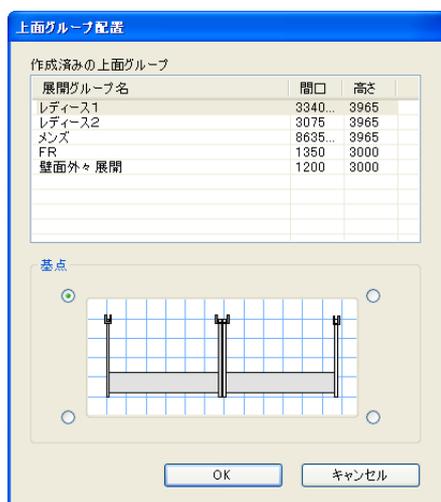
## 上面グループを配置

作成済みの上面グループ（展開グループを上から見た図）を平面図に配置します。

### 操作手順：

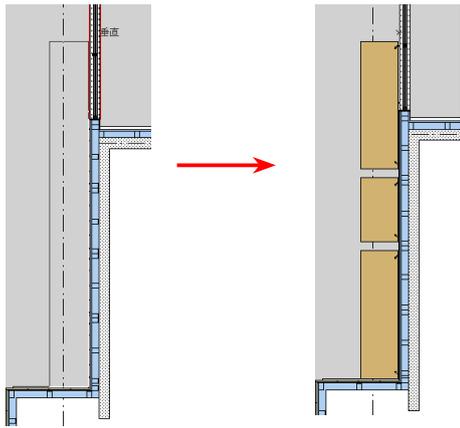
1. 平面図レイヤに切り替える
2. [上面グループ配置] ツールを選択

次のダイアログが表示されます。



3. 配置する上面グループを選択
4. 基点を選択  
図面をクリックした時の基点となります。
5. [OK] をクリック
6. 配置する位置をクリック
7. 角度を決めてクリック

これで、上面グループの配置ができました。



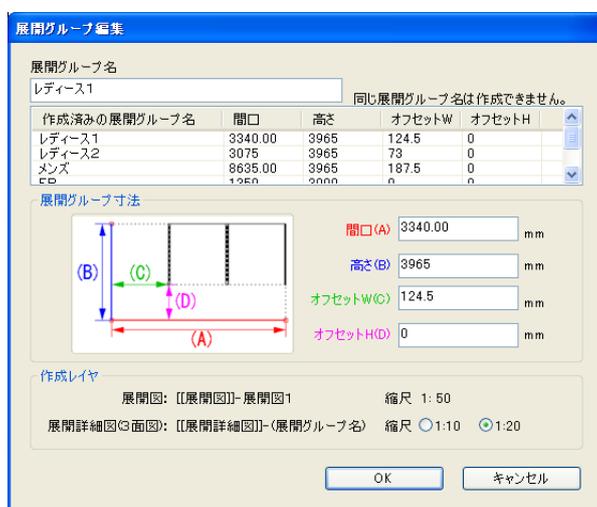
## 展開グループを編集

展開グループを編集します。パーツパターンが適用されている場合は、一部の値が編集できません。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. 編集する展開グループを選択
3. 【◆展開図◆】 → 【展開グループ編集 ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



4. 値を変更
5. [OK] をクリック

これで、展開グループの編集ができました。

### 注意：

パーツパターンが適用されている場合は、[間口]、[高さ]、[オフセットw]、[オフセットH] の値が編集できません。

## 展開グループを複製

展開グループを複製します。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. 複製する展開グループを選択
3. 【◆展開図◆】 → 【展開グループ複製 ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。

展開グループ複製

展開グループ名  
レディース1のコピー

同じ展開グループ名は作成できません。

作成済みの展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH
レディース1	3340.00	3965	124.5	0
レディース2	3075	3965	73	0
メンズ	9635.00	3965	187.5	0
FR	1350	3000	0	0
壁面外々展開	1200	3000	150	0

OK      キャンセル

4. [展開グループ名] を入力
5. [OK] をクリック

これで、展開グループの複製ができました。

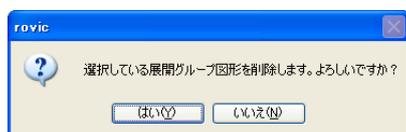
## 展開グループを削除

展開グループを削除します。展開グループを削除すると、展開詳細図も同時に削除されます。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. 削除する展開グループを選択
3. 【◆展開図◆】 → 【展開グループ削除 ...】 を実行

次のメッセージが表示されます。



4. [はい] をクリック

これで、展開グループの削除ができました。

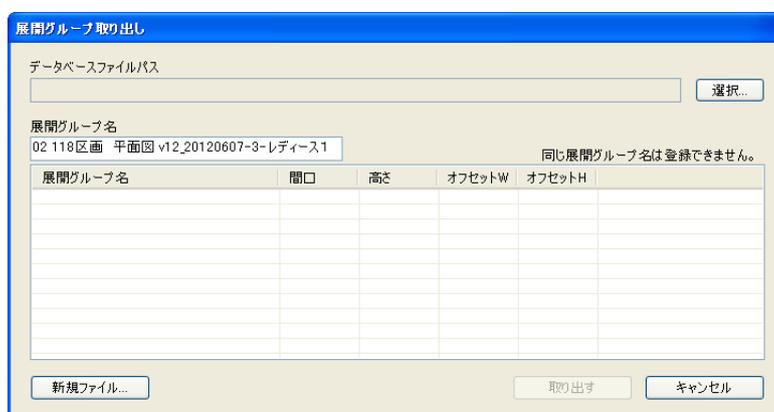
## 展開グループを取り出す

作成した展開グループを取り出し、別の図面ファイルで使用できるようにします。展開グループデータベースファイルを作成し、複数の展開グループを保存できます。

### 操作手順：

1. [2D セレクションポインタ] ツールを選択
2. 取り出す展開グループを選択
3. 【◆展開図◆】 → 【展開グループ取り出し ...】 を実行

次のダイアログが表示されます。



展開グループ名	間口	高さ	オフセットW	オフセットH

4. [新規ファイル ...] をクリック

取り出した展開グループが展開グループデータベースファイルに保存されます。ファイル名を指定して[保存] をクリックしてください。2回目以降は [選択 ...] をクリックし、展開グループデータベースファイルを指定することで、指定したファイルに展開グループを追加で取り出せます。

5. [展開グループ名] を入力
6. [取り出す] をクリック

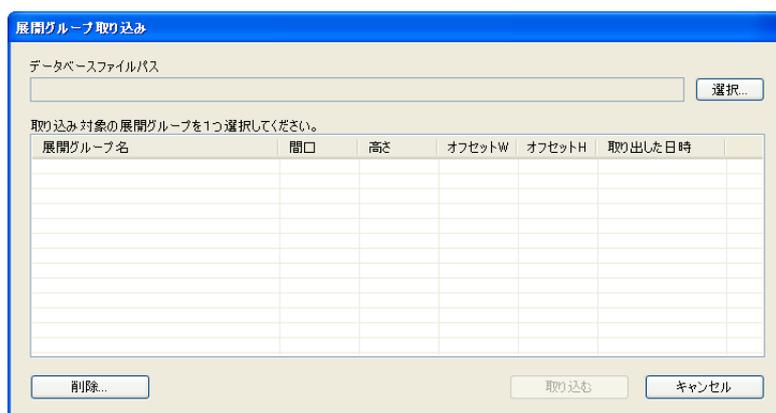
これで、展開グループの取り出しができました。

## 展開グループを取り込む

別の図面ファイルで作成した展開グループを取り込みます。

### 操作手順：

1. 【◆展開図◆】 → 【展開グループ取り出し...】 を実行  
次のダイアログが表示されます。



2. [選択...] をクリック  
取り込みたい展開グループが保存されている展開グループデータベースファイルを指定してください。
3. 取り込む [展開グループ] を選択
4. [取り込む] をクリック

これで、展開グループの取り込みができました。

rovic4

チュートリアル

発行 2012年6月21日

発行所 株式会社ロイヤル

〒130-0023 東京都墨田区立川3丁目6-8

電話 03-3634-6180(代)

URL : <http://www.toki.co.jp/>

著者 株式会社治郎吉商店

〒251-0025 神奈川県藤沢市鵜沼石上2-5-1 カサハラビル藤沢3F

TEL : 0466-54-6221 FAX : 0466-54-6233

URL : <http://www.jirokichi.jp/>